
「子ども達にとって望ましい学習環境
を考えるアンケート」結果報告（案）

令和 2 年 3 月
東松山市教育委員会

I 「子ども達にとって望ましい学習環境を考えるアンケート」の概要について

(1) アンケート実施の経緯	1
(2) アンケート実施の目的	2
(3) アンケートの概要	2

II アンケートの実施方法等について

(1) 対象者について	2
(2) アンケートの実施方法について	3～4
(3) アンケート内容について	4

III アンケート集計結果および傾向分析について

(1) 設問の集計について	5～11
基本情報について (5)	
設問1 小学校の学級数(学校規模)について (6)	
設問2 小学校の学級人数について (7)	
設問3 中学校の学級数(学校規模)について (8)	
設問4 中学校の学級人数について (9)	
設問5 児童・生徒数の減少が見込まれる中での対応について (10)	
設問6 通学距離について (11)	

1 「子ども達にとって望ましい学習環境を考えるアンケート」の概要について

(1) アンケート実施の経緯

東松山市教育委員会では、今後、少子化が更に進むことが予想される中、義務教育の機会均等や水準の維持・向上の観点を踏まえ、学校規模の適正化や学校の小規模化に伴う諸問題への対応が将来に渡って継続的に検討していかなければならない重要な課題であると捉えております。

令和元年度より「東松山市立小・中学校適正規模審議会」を設置して、地域の実情に応じた最適な学校教育の在り方や学校規模を主体的に検討し、令和2年度に「東松山市立小・中学校の適正規模の基本的な方針」策定を行います。この方針は、大規模校や小規模校に特化することなく、東松山市立小中学校の全体を見通した学校規模の適正化の方針として策定するものであります。今回のアンケートは、市民・保護者・教員から広く意見をいただき、方針策定にあたり参考・基礎資料とするため、実施いたしました。

本市の現状と将来推計について

《児童・生徒数について》

最も多かったのは昭和61年度で、10,781人。その後、しばらく横ばいが続き、平成5年度の10,742人以降は、減少に転じている。令和元年度（本年度）は6,583人（5月1日現在）である。

《学級数について》

最も多かったのは、平成5・6年度で両年とも小・中学校を合わせて333学級。現在の学級数は253学級である。最も多かった年から、80学級減少し、約75%の学級数となっている。

※児童・生徒数とのずれが生じていることは、1学級の人数の変更によるもの。

《将来推計について》

市街地整備等の影響から児童・生徒数が増加する地域があるものの、市全体としては、さらに少子化が進むことが予測される。



(2) アンケート実施の目的

令和2年度に策定を予定している「東松山市立小・中学校の適正規模の基本的な方針」で、東松山市として、適正な規模となる学校の基準を示してまいります。この度のアンケートの実施は、市民・保護者・教員を対象に「子ども達にとって望ましい学習環境を考える」観点から実施し、児童生徒の教育条件と学校の役割・機能についての意見を把握することを目的として実施いたしました。

(3) アンケートの概要

法令により標準・適正とされる小・中学校の「1学年あたりの学級数(学校規模)」※1「1学級あたりの学級人数」※2、「通学距離」※3、また、「児童・生徒数の減少が見込まれる中での対応について」と「自由意見」と、7つの項目を柱とした設問で構成し、市民・保護者・教員に対して、アンケート実施の目的である児童生徒の教育条件と学校の役割・機能についての意見を問いました。

※1 学校教育法施行規則

※2 公立義務教育諸学校の学級編成及び教職員定数の標準に関する法律
小学校設置基準(文部科学省令)
中学校設置基準(文部科学省令)

※3 義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律施行令

2 アンケートの実施方法等について

(1) 対象者について

- ① 市民・・・ 2,000名(無作為抽出)
- ② 児童・生徒保護者・・・ 市内小学校：2年生の保護者 728名
5年生の保護者 768名
市内中学校：2年生の保護者 733名
- ③ 教員・・・ 市内小・中学校に勤務する教員(県費負担教諭) 369名

アンケート対象別目的

- ① 市民 地域における学校の役割・機能等、幅広く様々な意見をいただくために実施
- ② 保護者 就学する児童・生徒の保護者として、子ども達の望ましい学習環境への意見をいただくために実施
- ③ 教員 児童・生徒に対しての指導や学級運営等、学校現場としての意見をいただくために実施

～それぞれの傾向分析を行うため、上記の3者の対象者を選定～

(2) アンケートの実施方法について

【市民】

基準日	令和元年11月1日
実施期間	令和元年11月8日～29日
対象者	市民
調査票方式	無記名式
実施方法	住民基本台帳から無作為抽出により対象者2,000名を決定しました。 対象者には、返信用封筒を同封し、郵送にてアンケートを配付し、返信をいただく方式をとりました。 期限1週間前にリマインドはがきを対象者全員に発送し、回答のお礼及び回答の促しとなるよう対応しました。
回収数(率)	967枚(約48%) 参考:配付枚数 2,000枚

【保護者】

基準日	令和元年11月1日
実施期間	令和元年11月8日～29日
対象者	市内小学校 2年生・5年生の保護者全員 市内中学校 2年生の保護者全員
調査票方式	無記名式
実施方法	対象学年に在籍する児童・生徒の保護者に対し、学校を通じて配付を行った。 担任教諭から児童・生徒経由にてアンケート用紙を配付し、実施期間終了日までに回収を行い教育委員会への提出を各学校に依頼し実施をしました。 また、当該アンケートの回答は世帯で1枚を基本とし、兄弟姉妹等の関係から、同一世帯が複数対象となった場合は、最年長となる児童・生徒の分を回答することとした。同じく市民対象のアンケートも重複した場合は、保護者アンケートを優先するものとし、重複回答への配慮を行った。
回収数(率)	1,778枚(約80%) 参考:配付枚数 2,229枚 兄弟姉妹は最長年児童・生徒分で回答

【教員】

基準日	令和元年11月1日
実施期間	令和元年11月8日～29日
対象者	市内小・中学校 全教員（県費負担教諭）
調査票方式	無記名式
実施方法	対象教員に対して、各学校長からアンケートを配付の上、実施期間終了日までの提出を依頼し、実施した。病休等、やむを得ない事情がある者は対象者から外した。
回収数（率）	369枚（100%）

（3）アンケート内容について

① 設問について

設問1 小学校の学級数（学校規模）について

- ・ 1学年あたりの学級数
- ・ 上記を選んだ理由

設問2 小学校の学級人数について

- ・ 1学級あたりの人数
- ・ 上記を選んだ理由

設問3 中学校の学級数（学校規模）について

- ・ 1学年あたりの学級数
- ・ 上記を選んだ理由

設問4 中学校の学級人数について

- ・ 1学級あたりの人数
- ・ 上記を選んだ理由

設問5 児童・生徒数の減少が見込まれる中での対応について

設問6 通学距離について

- ・ 小学校の通学距離
- ・ 中学校の通学距離

設問7 ご意見について（自由記述）

Ⅲ アンケート集計結果および傾向分析について

■ 市民アンケート基本情報について

▶ 年齢構成

年齢	人数 (人)	割合 (%)
18・19歳	16	1.7
20歳代	64	6.6
30歳代	122	12.6
40歳代	141	14.6
50歳代	148	15.3
60歳代	201	20.8
70歳代以上	261	27.0
無回答	14	1.4
計	967	100.0

▶ お住まいの地区

地区	人数 (人)	割合 (%)
松山地区	373	38.6
大岡地区	34	3.5
唐子地区	113	11.7
高坂地区	153	15.8
野本地区	115	11.9
高坂丘陵地区	64	6.6
平野地区	93	9.6
無回答	22	2.3
計	967	100.0

■ 保護者アンケート基本情報について

▶ お子様の学年

学年等	人数 (人)	割合 (%)
小学2年生	566	31.8
小学5年生	608	34.2
中学2年生	565	31.8
無回答	39	2.2
計	1,778	100.0

▶ 在籍学級の人数

在籍数	人数 (人)	割合 (%)
10人未満	7	0.4
10～20人	0	0
21～30人	658	37.0
31～40人	1,005	56.5
無回答	108	6.1
計	1,778	100.0

▶ お子様の通学距離

通学距離	人数 (人)	割合 (%)
1km未満	484	27.2
1km～2km未満	778	43.8
2km～3km未満	296	16.6
3km～4km未満	106	6
4km～5km未満	41	2.3
5km以上	23	1.3
無回答	50	2.8
計	1,778	100.0

■ 教員アンケート基本情報について

▶ 役職

役職	人数 (人)	割合 (%)
管理職	30	8.1
担任	193	52.3
特別支援学級等担任	38	10.3
担任外	108	29.3
計	369	100.0

▶ 担任している学級の児童・生徒数

在籍数	人数 (人)	割合 (%)
10人未満	36	15.7
10～20人	7	3.0
21～30人	64	27.8
31～40人	123	53.5
計	230	100.0

設問 1 小学校の学級数(学校規模)について

(1) 小学校の学級数は、法令※では1学年あたり2～3学級（1学校あたり12～18学級）を標準としていますが、あなたが最も望ましいと考える学級数について、次のア～オから1つ選び、○で囲んでください。

(単位左：人 右：%)

集計結果	市民		保護者		教員	
ア 1学年あたり1学級	7	0.7	9	0.5	3	0.8
イ 1学年あたり2学級	165	17.1	303	17.0	77	20.9
ウ 1学年あたり3学級	632	65.4	1,142	64.2	234	63.4
エ 1学年あたり4学級	111	11.5	169	9.5	37	10.0
オ 1学年あたり5学級以上	37	3.8	35	2.0	1	0.3
無回答	15	1.5	120	6.8	17	4.6
計	967	100.0	1,778	100.0	369	100.0

※学校教育法施行規則

1番多い回答	2番目に多い回答	3番目に多い回答
--------	----------	----------

(2) (1)の回答を選んだ理由について、次のア～クから2つまで選び、○で囲んでください。

【選択肢】

ア 児童間の人間関係が深まりやすく、他の学年との交流が生まれやすい
イ 競争意識が生まれやすく、切磋琢磨し合える環境である
ウ クラス替えにより人間関係に変化を持たせることができ、友達もたくさんできる
エ 社会性や協調性を身につけることができる
オ 学校行事で、児童一人ひとりの個別の活動機会を設定しやすい
カ 学校施設や教具等が利用しやすい
キ 運動会や学習発表会等の学校行事が盛り上がる
ク その他

(単位：人)

集計結果	市民	保護者	教員	3者計	割合 (%)
ア	258	445	71	774	14.3
イ	131	199	45	375	6.9
ウ	674	1,105	262	2,041	37.6
エ	206	397	100	703	13.0
オ	161	331	74	566	10.4
カ	73	129	45	247	4.6
キ	226	344	50	620	11.4
ク	28	57	13	98	1.8
計	1,757	3,007	660	5,424	100.0

傾向（小学校：学級数）

1学年あたりの学級数は、3者とも「ウ 1学年あたり3学級」が6割以上を占めており、理由としては、「ウ クラス替えにより人間関係に変化を持たせることができ、友達もたくさんできる」が最も多く、次いで「ア 児童間の人間関係が深まりやすく、他学年との交流が生まれやすい」となった。

設問 2 小学校の学級人数について

- (1) 小学校の児童数は、法令※では1学級40人（1年生は35人）を基準としていますが、あなたが最も望ましいと考える学級人数について、次のア～エから1つ選び、○で囲んでください。

(単位左：人 右：%)

集計結果	市民		保護者		教員	
ア 1学級あたり10人以下	7	0.7	10	0.6	0	0.0
イ 1学級あたり11から20人	133	13.8	182	10.2	48	13.0
ウ 1学級あたり21から30人	684	70.7	1,307	73.5	293	79.4
エ 1学級あたり31から40人	134	13.9	164	9.2	12	3.3
無回答	9	0.9	115	6.5	16	4.3
計	958	100.0	1,778	100.0	369	100.0

※公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律
小学校設置基準(文部科学省令)

- (2) (1)の回答を選んだ理由について、次のア～キから2つまで選び、○で囲んでください
【選択肢】

ア 教員の目が届きやすく、きめ細かな指導が行いやすい
イ 競争意識が生まれやすく、切磋琢磨し合える環境である
ウ 社会性や協調性を身につけることができる
エ クラス内の人間関係に変化が持てる
オ 学校行事で、児童一人ひとりの個別の活動機会を設定しやすい
カ 学校施設や教具等が利用しやすい
キ その他

(単位：人)

集計結果	市民	保護者	教員	3者計	割合 (%)
ア	620	1,255	290	2,165	40.5
イ	181	211	23	415	7.8
ウ	320	432	96	848	15.9
エ	306	420	104	830	15.5
オ	234	456	112	802	15.0
カ	62	125	34	221	4.1
キ	25	30	8	63	1.2
計	1,748	2,929	667	5,344	100.0

傾向（小学校：学級人数）

1学級の人数は、3者とも「ウ 1学級あたり21人から30人」が、7割以上を占めており、その理由としては、「ア 教員の目が届きやすく、きめ細かな指導が行いやすい」が一番多く、二番目の理由としては、市民が「ウ 社会性や協調性を身につけることができる」となった。

設問 3 中学校の学級数(学校規模)について

- (1) 中学校の学級数は、法令では1学年あたり4～6学級（1学校あたり12～18学級）標準としていますが、あなたが最も望ましいと考える学級数について、次のア～エから1つ選び、○で囲んでください。

(単位左：人 右：%)

集計結果	市民		保護者		教員	
ア 1学年あたり1学級	4	0.4	9	0.5	1	0.3
イ 1学年あたり2～3学級	207	21.4	275	15.5	66	17.9
ウ 1学年あたり4～6学級	697	72.1	1,324	74.5	282	76.4
エ 1学年あたり7学級以上	41	4.2	45	2.5	5	1.3
無回答	18	1.9	125	7.0	15	4.1
計	967	100.0	1,778	100.0	369	100.0

※学校教育法施行規則

- (2) (1)の回答を選んだ理由について、次のア～クから2つまで選び、○で囲んでください。

【選択肢】

ア 生徒間の人間関係が深まりやすく、他の学年との交流が生まれやすい
イ 競争意識が生まれやすく、切磋琢磨し合える環境である
ウ クラス替えにより人間関係に変化を持たせることができ、友達もたくさんできる
エ 社会性や協調性を身につけることができる
オ 学校行事で、生徒一人ひとりの個別の活動機会を設定しやすい
カ 学校施設や教具等が利用しやすい
キ 体育祭や文化祭等の学校行事が盛り上がる
ク 部活動が活発に行える
ケ その他

(単位：人)

集計結果	市民	保護者	教員	3者計	割合(%)
ア	215	321	61	597	11.0
イ	217	341	98	656	12.1
ウ	532	907	219	1,658	30.6
エ	227	402	93	722	13.3
オ	133	209	48	390	7.2
カ	33	58	11	102	1.9
キ	267	505	99	871	16.1
ク	114	230	36	380	7.0
ケ	15	23	8	46	0.8
計	1,753	2,996	673	5,422	100.0

傾向（中学校：学級数）

1学年あたりの学級数は、3者とも「ウ 1学年あたり4～6学級」が7割以上を占めており、理由としては、「ウ クラス替えにより人間関係に変化を持たせることができ、友達もたくさんできる」が一番多く、二番目としては、「キ 体育祭や文化祭等の学校行事が盛り上がる」となった。

設問 4 中学校の学級人数について

(1) 中学校の生徒数は、法令※では1学級40人を基準としていますが、あなたが最も望ましいと考える学級人数について、次のア～エから1つ選び、○で囲んでください。

(単位左：人 右：%)

集計結果	市民		保護者		教員	
ア 1学級あたり20人以下	52	5.4	50	2.8	8	2.2
イ 1学級あたり21から30人	487	50.4	861	48.4	249	67.5
ウ 1学級あたり31から40人	405	41.9	729	41.0	96	26.0
エ 1学級あたり41人以上	11	1.1	11	0.6	0	0.0
無回答	12	1.2	127	7.2	16	4.3
計	967	100.0	1778	100.0	369	100.0

※中学校設置基準(文部科学省令)

公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律

(2) (1) の回答を選んだ理由について、次のア～キから2つまで選び、○で囲んでください。

【選択肢】

ア 教員の目が届きやすく、きめ細かな指導が行いやすい
イ 競争意識が生まれやすく、切磋琢磨し合える環境である
ウ 社会性や協調性を身につけることができる
エ クラス内の人間関係に変化が持てる
オ 学校行事で、生徒一人ひとりの個別の活動機会を設定しやすい
カ 学校施設や教具等が利用しやすい
キ その他

(単位：人)

集計結果	市民	保護者	教員	3者計	割合 (%)
ア	519	1,055	257	1,831	34.7
イ	277	370	50	697	13.2
ウ	351	519	114	984	18.6
エ	329	491	103	923	17.5
オ	175	351	104	630	11.9
カ	42	86	31	159	3.0
キ	25	24	4	53	1.0
計	1,718	2,896	663	5,277	100.0

傾向 (中学校：学級人数)

1学級の人数は、3者とも「イ 1学級あたり21から30人」が、5割程度を占めており、その理由としては、「ア 教員の目が届きやすく、きめ細かな指導が行いやすい」が一番多く、二番目の理由としては、「ウ 社会性や協調性を身につけることができる」となった。

設問 5 児童・生徒数の減少が見込まれる中での対応について

- (1) 少子化社会の到来に伴い、今後、児童・生徒数の減少が見込まれる中、望ましい学習環境を確保するための対応として、あなたが望ましいと考えるものについて、次のア～オ から あてはまるものをすべて 選び、○で囲んでください。

【選択肢】

ア	学校区（通学区域）を変更する
イ	近隣学校と統廃合する（複数の学校を一つにまとめる）
ウ	児童・生徒数が基準に達しない場合は複式学級※1で対応する
エ	特認校制度※2 などの学校選択制を導入する
オ	その他

（単位：人）

集計結果	市民	保護者	教員	3者計	割合 (%)
ア	539	947	238	1,724	36.7
イ	429	647	218	1,294	27.6
ウ	178	280	61	519	11.1
エ	356	654	71	1,081	23.0
オ	20	45	10	75	1.6
計	1,522	2,573	598	4,693	100.0

- ※1 複数の学年を1つにした学級。法令では、小学校の場合、他の学年と合わせて16人までの時に1学級を編制（ただし、1年生を含む時は8人）とすること。
例）複式学級 [1年生（4人） 2年生（3人）] [4年生（7人） 5年生（8人）]
- ※2 施設に余裕のある学校を「特認校」として指定し、その特認校には通学区域に関係なく、希望により就学できる制度。

傾向（減少が見込まれる中での対応）

児童・生徒数の減少が見込まれる中での対応については、「ア 学校区（通学区域）を変更する」が一番多く、二番目として「イ 近隣学校と統廃合する（複数の学校を一つにまとめる）」また、三番目としては「エ 特認校制度などの学校選択制を導入する」となった。

自由記述を鑑みても、市内に偏りが無い学習環境を望む声が多かった。

設問 6 通学距離について

- (1) 小学校の通学距離は、法令※では概ね4km以内としていますが、徒歩で通学する場合、どの距離までが通学可能と考えるか、次のア～カから1つ選び、○で囲んでください。

(単位左：人 右：%)

集計結果	市民		保護者		教員	
	人	%	人	%	人	%
ア 2. 0km未満	240	24.8	601	33.8	1	0.3
イ 2. 0km以上～2. 5km未満	263	27.2	404	22.7	66	17.9
ウ 2. 5km以上～3. 0km未満	238	24.6	339	19.1	282	76.4
エ 3. 0km以上～3. 5km未満	126	13.0	180	10.1	5	1.4
オ 3. 5km以上～4. 0km未満	79	8.2	128	7.2	5	1.4
カ 4. 0km以上	7	0.7	12	0.7	5	1.4
無回答	14	1.5	114	6.4	5	1.2
計	967	100.0	1,778	100.0	369	100.0

※義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律施行令

- (2) 中学校の通学距離は、法令※では、概ね6km以内としていますが、徒歩又は自転車で通学する場合、どの距離までが通学可能と考えるか、次のア～オから1つ選び、○で囲んでください。

(単位左：人 右：%)

集計結果	市民		保護者		教員	
	人	%	人	%	人	%
ア 3. 0km未満	160	16.5	418	23.5	33	8.9
イ 3. 0km以上～4. 0km未満	277	28.6	475	26.7	83	22.5
ウ 4. 0km以上～5. 0km未満	286	29.6	411	23.1	111	30.1
エ 5. 0km以上～6. 0km未満	197	20.4	314	17.7	116	31.4
オ 6. 0km以上	29	3.0	33	1.9	11	3
無回答	18	1.9	127	7.1	15	4.1
計	967	100.0	1,778	100.0	369	100.0

※義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律施行令

傾向（通学路）

通学路としては、小学校及び中学校ともに、保護者は短めの通学距離を選択し、教員は保護者・市民より長めの距離を選択する傾向にあった。また、自由記述において、スクールバスへの希望が多かった。

傾向分析（総合）

【学級数（学校規模）・学級人数について】

- 小・中学校ともに、1学年の学級数としては、法令どおりを希望する意見が多かったが、学級の人数としては法令より少ない人数を希望する傾向にあった。小・中学校では、教科等の知識や技能を習得するだけでなく、一定規模の学校規模を保ち、児童生徒が集団の中で多様な考えに触れることで、人間関係の醸成を図り、社会性や協調性を身に付けることが大切であると考えられる方が多く、このような結果に至ったと考える。
- 中学校においては、小学校以上に、学校運営において一定数の学校規模を望む意見が多い。生徒が行事や部活動を通して、友達との人間関係を深め学校生活を、より充実した魅力あるものにしたいという願いであると、鑑みることができる。回答者の自分自身の経験に裏付けられているものであると考える。
- 小・中学校ともに、クラス替えができることが、重要なポイントとなっている。このことは、特に教員側からの意見によると、「学年担当の教員数」が大きく影響している。小学校では1学年あたり単学級であると学年担当の教員が1人であることから、他学級との教材研究等ができない状況である。1学年あたり3学級あれば、教材研究も深まり授業の質が向上する。担任間での相談により創意工夫により、ダイナミックな教育活動を展開できる。また、「人間関係が固定化せず、社会性の育成が図れる」、との意見から「1学年あたり3学級」という回答数が6割以上となったと考える。
- 同じく保護者からは、クラス替えができないと、いじめ等があった場合逃げ場がないなどの意見があり、クラス替えができる環境を望む声が多くなった。また、中学校においては、教員の意見として、学級数が少ないと教科担当外の教員が授業を行うこととなることから、全ての教科担当の教員が配置できる学校規模が、教育の質の維持の観点でも重要である。学級人数においては、子ども達に目が行き届く、きめ細かい指導を望む声が多かった。また、教員からは、現在、個別対応する児童・生徒も多くなってきている状況を踏まえ、法令より少ない人数の回答数が多くなったと思われる。

【児童・生徒数の減少が見込まれる中での対応について】

- 「学校区（通学区域）の変更」、「近隣学校と統廃合する」が多く選ばれたが、このことについては、設問1（1）及び設問3（1）の学級数（学校規模）に関する回答で、一定の学校規模を望む声が多かったことと、クラス替えができることが重要なポイントであったこと、市内公平な学習環境を求める意見があったことなどが反映され、このような結果に至ったと考える。

【通学距離について】

- 通学距離については、3者すべて法令より、短い距離を選択している。また、各設問の記述欄及び自由記述欄においても、スクールバス導入について言及する意見も多かった。このことは、児童が減少し通学班を編成することが、困難になっている個所もあること、社会情勢により不審者の目撃情報が増えていることや、交通事故等への懸念などが大きく影響していると考ええる。

アンケート自由記述について【市民】

1 各設問「その他」の記述内容について

設問1(2) 小学校の学級数(学校規模)を選んだ理由について (33件)

※【 】は、設問1(1)で選んだ回答

設問1(1) ア 1学級 イ 2学級 ウ 3学級 エ 4学級 オ 5学級

- 【ウ】 目がいき届く
- 【ウ】 多すぎると、1つ1つの行事に参加、観覧するのが大変なため。又、全く知らないまま6年間過ごす同学年の子が出てくるため。
- 【イ】 設問1(1)1学年全体が何人いるかでイからウになる。
- 【ウ】 多すぎず少なすぎないメリット。
- 【ウ】 設問1(1)人数によります。
- 【ウ】 エ・キ
- 【オ】 設問1(1)自分の頃は8単級(1単級45人いた) (2)友人が多くできる。
- 【ウ】 多すぎると学校が狭くなり、イジメが増える可能性がある為。
- 【イ】 学級数1に対して出来るだけ少人数で。(教員の負担軽減を)
- 【イ】 児童数がすくないので何ともいえない。
- 【エ】 PTA役員等の負担軽減。
- 【ウ】 項目が学校側にかたよっています！視点が。
- 【エ】 1学級あたり何人かが関係しますが先生の目が届く学級数になると思います。
- 【イ】 自分の学校がそうであった。考えるとそれが良かったのかな？
- 【オ】 教員が生徒1人1人を深くみることができるから。
- 【イ】 2学級で最も費用対効果が見込まれると考えています。
- 【無】 学級数は特に気にならない。
- 【オ】 1クラス当たりの人数が先生の見る範囲に適している。
- 【エ】 クラス単位での協調や競争も必要では。
- 【ウ】 2学級だと1クラス40人くらいになりそうだから。
- 【ウ】 担任の連携がしやすい。
- 【ウ】 学年担当の先生が2人というのは少ないと考えるため、3学級が程よい。
- 【イ】 先生の目が行き届きやすい。
- 【ウ】 経験上最もよかったと思えるから。
- 【ウ】 クラスを変える必要性が発生した時に選択肢がある。
- 【イ】 児童に目が届きやすくなるのでは。
- 【ウ】 人数が多いと先生の目がとどかない。
- 【エ】 偶数のクラスにして、場合によって2つに分ける等変化をつけながら対応できそうだから。

- 【エ】 奇数の学級数より各イベントや運営面等でプラス面が多い。コミュニケーションもよくなる。
- 【ウ】 大人の目が届きやすい。きめ細かな指導を受けやすい。新明小の1年生35名以上で1クラスは異常、高学年でクラスを増やしたところで意味ない。
- 【ウ】 大切なのは、人を思いやり、仲間を大切にしたい気持ち。ルールやモラルを共有できる相手がいれば、人数ではない。
- 【エ】 ア～キを含めた上で偶数の方が何かとバランスがとれそう。
- 【エ】 先生が生徒を管理しやすい。

設問2(2) 小学校の学級人数を選んだ理由について (27件)

※ 【 】は、設問2(1)で選んだ回答

設問2(1) ア 10人以下 イ 11～20人 ウ 21～30人 エ 31～40人

- 【ウ】 多いことで目が届かず、対応してもらえない。雑になるため。
- 【ウ】 まとまりやすい人数だから。
- 【エ】 税込不足の中教員の人件費に制約がある。
- 【イ】 人数に対し、教室が狭いとイジメが発生する可能性がある為、小学校で最も大事なことは社会性を身につける事、その為に大切なことはイジメを体験しない事。(加害/被害)
- 【イ】 教員の負担軽減が大切。
- 【ウ】 ア・ウをふまえた上で多くても28人かと考える。
- 【ウ】 教員の能力による！誘導尋問に近い！
- 【ウ】 教員の書類仕事を減らし、なるべくクラスにいられるようにするべきだと考える。
- 【ウ】 自分が30人ほどのクラスだったが、あまり教員の目がとどいていないと感じたため。
- 【イ】 発達障害やそのグレーゾーンの子供達が増えていると知り、集団かつ個別にも対応しやすい人数ではないかと考えたため。
- 【ウ】 とくに高学年になると人数がいると教室がせまい。
- 【イ】 教員のために。
- 【イ】 一人一人を生かす教育ができる。
- 【エ】 1学級人数が多いので教師1人～2人に頼るのではなくて、生徒一人一人が意識を持ってクラスづくりをしていく。
- 【エ】 コミュニケーション能力向上のため。
- 【イ】 お互いを理解するには、20人までが限度であり、友情も深まる
- 【ウ】 落ち着いて勉強ができる。

- 【エ】 朝当番が回ってきづらい。
- 【ウ】 落ち着いて勉強ができる。
- 【エ】 朝当番が回ってきづらい。
- 【ア】 そもそも1人で40人を相手するというのがおかしい。育てる気がないように思う。
- 【ウ】 教員の負担の軽減。
- 【ウ】 バランスが良いと思う。(色々な面で)
- 【ウ】 集団の中で社会性、協調性を考える場面が多く生じてよいと思える。
- 【ウ】 友人関係のトラブル等、児童の変化に教員が気付ける人数だと思う。1クラスの人数が多すぎると、教員の目も届かず、子どものために十分な対応がとれない。保護者対応など、教員の負担を考えても、多くて30人ほどだと思う。
- 【イ】 教員もそれぞれ、1人1人を見る事が出来る教員が多勢いるとは思えない。
- 【エ】 ア～カを含めた上で多すぎず少なすぎないと思う。

設問3(2) 中学校の学級数(学校規模)を選んだ理由について (18件)

※ 【 】は、設問3(1)で選んだ回答

設問3(1) ア 1学級 イ 2～3学級 ウ 4～6学級 エ 7学級以上

- 【ウ】 目がいき届く。
- 【ウ】 少なすぎると人間関係、世界も狭くなる。部活動が少なく選べない。(現在この状態です。)
- 【無】 設問3(1)人数によります。
- 【イ】 互いを認知しやすいから。
- 【エ】 ケ→自分の経験上、8クラス45人学級だった。
- 【イ】 児童数の問題があるので何ともいえない。
- 【エ】 1クラスの人数によるが、教員が1人1人ちゃんと指導できる環境が良いと思ったから。
- 【イ】 少ない程良い。
- 【無】 学級数は特に気にならない。
- 【エ】 1クラス当たりの人数が先生の見る範囲に適している。
- 【イ】 教師集団が学年全体を見守ることも大事。
- 【ウ】 特に理由はありません。
- 【ウ】 経験上よいと思えるから。不都合がなかったから。
- 【ウ】 教員の目が届きやすく、よく見てもらえる。
- 【ウ】 (1)で回答 1.(2)その他で説明したように学年、学校経営、運営上プラスが多い高評価につながる。特に教師間や生徒の関係でも。集団行動、活動、運営上

良いコミュニケーションが生じる・特に偶然クラス数がよい。

- 【イ】 クラス替えで数人は友人と同じクラスになれる可能性がある。
- 【ウ】 教員の力量がともなっていないと思う。
- 【エ】 先生が生徒を管理しやすい。

設問4(2) 中学校の学級人数を選んだ理由について (25件)

※ 【 】は、設問4(1)で選んだ回答

設問4(1) ア 20人以下 イ 21～30人 ウ 31～40人 エ 41人以上

- 【イ】 年齢が上がるにつれて、1人1人が抱える問題も複雑になるため、多すぎると教員が対応しきれない。
- 【ウ】 人数が多すぎると、マイクなしで声を全員に届けるのが難しくなる。(指示、号令、発表等)
- 【イ】 問題行動や思春期の不安定さを把握しやすいから。
- 【エ】 国の財政難の折り、甘えは許されない。
- 【ア】 教室が狭すぎないこと。
- 【ア】 個々の生徒への十分な対応を
- 【イ】 ア・ウをふまえた上で多くても28人と考える。
- 【イ】 学力も大事だが、心のケアが一番必要な年齢だと思うから。
- 【ウ】 多くの交友関係が望める。
- 【イ】 設問2の(2)キと同理由。
- 【イ】 授業参観の時に教室に入って見る事が出来る。現在40名で教室が狭く廊下で見ようになってしまう。
- 【イ】 一人一人を生かす教育ができる。
- 【ウ】 複数の担任に対応してほしい。異なる視点で生徒を評価する事が大事だと思う。
- 【ウ】 1学級人数が多いので教師一人～二人では目が届きにくい。生徒一人一人が意識を持ってクラスづくりをしていく。学習はできる、できないが差が大きくてやすい。その点を教師がもっと見てほしい。
- 【エ】 コミュニケーション能力向上のため。
- 【ウ】 40人で限界だと思う。それ以上は教室が狭い。
- 【ウ】 教員の目がとどきづらいため。
- 【ウ】 教員の目がとどきづらいため。
- 【イ】 多感で問題も起こりやすい時期なので、学校生活の様子、変化に気づきやすい人数かと思う。
- 【イ】 あまり少ないと人件費がかかる、教員をふやすため。
- 【ア】 個性を活かした役割をあたえる為には、少人数で育てなければ才能がつぶれるだろ。

- 【イ】 教室が狭いように感じます。成長により体が大きくなっているのです。
- 【ア】 クラス内の子供達同士がお互いをよく知り、行動できるようになる。お互いに配慮しあえるようになる。
- 【ウ】 小学校より人数を 31～40 人としたのは精神的発達段階からより多数の中で社会性や協調性を養える場を増やすために必要な人数かと思える。
- 【ウ】 男女共ある程度人数がいた方が活動の幅が広がる。

設問5 児童・生徒数の減少が見込まれる中での対応について (18件)

- ・循環バスを有効利用もいいのかと思いますが唐子は 40 年も前に揉めていました。特にアなんて無理です。越境入学(通学)ができるのですか?都内は、どの中学に入るか自由ですよ。
- ・市内全体の児童数を平均とする。
- ・他校との交流の機会をつくるなど広い視野をもって学習できるとよいですね。
- ・児童・生徒数が基準に達していても、学年をこえたクラスをつくる。
- ・その地域の人達の希望を聞く。
- ・特認校にかかわらず、学校を選べるようにする。
- ・学校にまかせる。
- ・ICT を活用した遠隔授業。
- ・完全学区制は廃止してほしい。
- ・個人に選ばせる。小学校・中学校の位置で家を買った人もいるから。
- ・学校だけの問題ではなく街づくり、人口動態の面からも考えるべき。
- ・なにもしない。
- ・バスをつかう。
- ・小・中学校で一緒に学ぶ。(1つの校舎を分ける)
- ・児童、生徒にとり、通学が負担にならない距離が望ましい。
- ・スクールバスを導入し統廃合する。
- ・個性を生かすために部活など生徒が自分に合った学校を選べるようにする。
- ・一貫校。(幼～高までの中で)

2 設問7 自由記述について

1 学級数・学級人数について (26件)

- ・法令で決まっているが現状をみて検討してもらいたい。
- ・少人数やはり 20 名くらいが良いと思います。地域により児童数の増減が大きく、都市計画に問題があるのではと思っています。人材育成が求めうる中教育にもっと予算

を配分し、公立小中、しっかりやって欲しいです。

- ・1学年60人位で、各地域に最低1校は、あるように。
- ・以前2クラス学級（現在中2唐子小の時）だったが、6年間3クラスで対応していた。学級の状態によりこの様な対応をしていただきたい。
- ・児童生徒のきめ細かな指導のためには、少人数の学級も必要と考えます。また、地域性も学区編成には、必要な視点であり、同じ自治会を2分するような学区割は、賛成できません。
- ・規模は法令どおりで問題ないと思う。あまり縮小しすぎると、高校・大学で規模が突然大きくなったときに適応しにくくなるので。いじめなどにあって他校に転校したくなったら、学区外の公立校でも受け入れられるような柔軟なしくみになればいいと思う。
- ・少子化に伴い適正規模、適正配置は非常に難しい問題ですが、今の時代に合うように、どうぞ知恵を絞って下さい。主人は、一歩踏み出せば必ず成就すると申しております。
- ・適正規模、配置にもう少し柔軟性があるといい。
- ・最近少子化により、1学年1クラス、1クラスの子供の数が20人前後という話を聞くが、学校教育の目的の一つに、社会性、人間関係の構築があることを考えると、クラス数、1クラスの生徒数が少なすぎるのは好ましくないと考える。
- ・学校は、社会性を育てることが最大の目的である。この社会性を育てるには児童・生徒の数が、学年内にある人数いないと育てられない。したがって小さい学校は統廃合しなければならない。
- ・これまでの経緯や地域の特性はあるとは思いますが、学校によって生徒数や学級数に大きな差があるのは問題と思います。
- ・学級数、学級人数の適性を考えると同時に担任、副担任の先生方の適性人数も見直す方がよいのではと思いました。
- ・学級の人数が多すぎると教師の負担が心配です。
- ・特別な配慮を要する児童が増え、個別の支援にあてる時間がとても多いため、学級人数についてご検討いただきたいと思います。
- ・とても難しいアンケートでした。
- ・教師が無理なく生徒全員に目が届くくらいの規模にしてほしい。特認校など学びたいことをしっかり学べる環境を整備してほしい。（教師の負荷も含め）
- ・未来の子供達には安全且つ楽しい学校生活を送ってほしいと思っています。
- ・学校の運営に当たっては教師の働きやすさも考えてクラスの人数を考えて頂きたい。
- ・学級数は多くても良い。1学級あたりの人数が大事だと思う。30人前後で適正だと思う。
- ・設問4(1)35人まで
- ・そりゃあ、少人数、小クラスの方がいいに決まっているが、国や地方の財政難との関

わりをどうするかが問題。自分の経験上、小、中の多人数、多クラスで何の問題もなかった。

- ・保護者、生徒への十分な対応で出来るように、少人数教育環境を整えて欲しい。優秀な先生方が疲弊しないことが望ましい。
- ・車社会で通学距離は時代錯誤でもってのほか。「通学バス」の活用 小クラス多学級で活気ある学生生活を送らせる。
- ・小学校低学年だけでも、クラスの人数を減らして学級数を増やし、教員の目が1人1人に行き届きやすいようにしてほしい。
- ・1学級の人数が決まっていますが、人数に限らず、その学年の状況（手のかかる子が多い、学年全体がまとまっていない）などによっては特例で学級数を増やすなどの対応をして欲しい。学級の人数を減らして先生の指導がしやすくした方がよい。
- ・児童、生徒、一人一人に教員の目が届きやすく、きめ細やかな指導をしていただき、児童、生徒が楽しく学べる環境を作っていただき、徒歩で通学できるようにしていただきたいです。

2 学校規模・学校区等について（25件）

- ・アンケート調査、ご苦勞様です。マンモス校と小規模校ができるのは、どの市町村においても仕方がないことだと思います。しかし、その差を少なくしようとする手立てと努力はとても大切だと考えています。よりよい教育のため、今後の取り組みに期待しています。
- ・市内に男女の公立高校を作る事により、小・中学生の流出を防げると考えます。
- ・少子化にともない、財政面から小・中学校の統廃合がこれから増えていくのだろうとは思いますが、地域から学校がなくなってしまうのはとても残念だと思います。たとえば、通う子供が減ってしまっても、できれば少人数でも地域の学校を残してほしいと感じます。
- ・少子化で規模の縮小に対し、学校生活におけるデメリットも考えられるので、その防止対策も検討して欲しい。
- ・少子化に伴って学校が減ってしまうのは仕方がないので、海外みたいに小学校のうちからスクールバスを走らせたらいいと思いました。
- ・少子化に伴い、学校区を変更する等が必要と思うが、市街地の学校に統合するだけでなく、自然豊かな、市街地の学校に（マイクロバス等で）通学させるのも良いと思う。自然環境の中での、学習も必要と思います。
- ・児童数の減少をマイナスに考えず、少数ならではの内容の濃い教育の機会ととらえたら良いと思う。そして、ゆくゆくはスクールバスでの送迎も視野に入れるべき時代になってきているのではないのでしょうか？白山小中学の一貫教育も我が子とその世代なら通わせてみたかったと思う。
- ・複式学級の様な極端な減少は想像しにくい。その前に少子化を防ぐ対策の方が重要な

のでは。

- ・教育は将来への投資であるため、子供の数に対して教員や施設に余裕ができるようになればその分、1クラス2~3名の教員で教える等、手厚い施策をすべき
- ・生徒数が少なくなった場合ウと答えましたが子どもが通える範囲内に学校がある場合にはイの方が数が増え良いと思います。少ない人数の中で生活を送るより集団生活を学ぶ事も学校のあるべき姿と思うので、人間関係を形成していく上でも良いと思います。
- ・小学校の通学ではバス利用も必要。中学校の通学は自転車利用で学校数を少なく。空いた学校で、校舎はテナント等へ、校庭は駐車場経営へ。
- ・早急な対応・実現を望みます。(大規模小学校を卒業し、特認で小規模中学へ行ったため、両方の良い面、悪い面を見て経験しての思いからです。)
- ・「特認校」を増やしてみたら、各校の特徴をもっとアピールしてみたらいかがでしょう。例：青鳥小の素足
- ・学区を多少自由にしていただけると、距離の面からも良いと思います。また、通わせたい校風の所へ行けるのは、良いと思います。
- ・東松山市全体をよく見て、児童が同じ環境になるようにしてもらいたい。教育課と市が協力して、勝手に家を建てて、児童数が増えすぎないように気をつけてほしい。何を書いてもむだだと思いますが、言わないときづいてもらえないので！！
- ・今通学している子供達の心に寄りそった結果になればいいと思います。
- ・学校は、地域とつながりがあったほうが良いと思います。何かあったときの避難所にもなるといいます。地域の子が通っている学校であったほうが良いので、特認校制は数合わせのような気がします。
- ・少子化対応として学校区の見直し、通学路の整備。
- ・今までの公立学校での規模・配置では、通用しない時代が変わっていくだろう。今までの型にとらわれず、現実に適応していくのがよいと思う。
- ・いじめ等の対応が(目が届く)適正に行われるよう配慮(少人数制)が必要。又、地域での生活を考えた通学区を設定する必要が重要。
- ・多くの友人が作れる環境が望ましいと思います。
- ・社会性を身につけるためには、ある程度の学校規模が必要になると思う。
- ・学校区(通学区域)を変える。
- ・川島町の例を参考にしては?(小学校)
- ・少子化対策のため、学校の統廃合は柔軟にすべきと考えます。

3 通学距離等について (37件)

- ・小・中学校ではクラブや部活等がある為できるだけ通学路の距離は短い方が、帰りが遅くならず親は心配せずに済む。中学校に通う際には、家の前を通過して通学している中学生達と同じ中学校にしてほしい。勉強しやすく、友達とも楽しく過ごしやすい環

境づくりをお願いしたい。(昔ながらの環境・考え方(中学校等の選び方)を残しつつ)

- ・学校再編等により生じる遠距離通学者については、安全のためスクールバスによる通学にした方が良いと思います。
- ・小学校の校区の見直しをもっと積極的に行うべき。桜山小学校と高坂小学校。駅西側の小学生が駅東まで通学している。
- ・少子化により色々な選択を流動的に対応していくしかないが、小、中学を市内に何校にするのかも検討し、通学方法とかを(例えばバスとか)考えるのもありえるかなと思います。
- ・学区内の学校が子供の足で40分以上かかる場所にあり、学区外の学校が10分程のところにあります。できるだけ近くの学校に通わせたいので、学区の再編成をお願いします。
- ・望ましい適正にするには、通学の問題が生じると思います。スクールバスの設置しか方法がないと思います。
- ・通学距離が、2,0 km、3,0 km以上の場合、スクールバスなど利用する。
- ・統廃合の場合、4 km以上にもなる。スクールバス等を考えられる。
- ・最近の子供たちはあまり運動せず、パソコン携帯等に夢中になり、外で遊ぶ事が少ない様に見える。徒歩で動くことが少ない感じがする。従って、通学距離が短い方が良いのではないか。
- ・居住地域によって千差万別だが、通学距離が遠くにならないように。登校に困難をきたしたり、事故の心配もありますので。
- ・市内循環バス等交通手段の充実も利用検討してほしい。
- ・通学路の安全整備を確立して欲しい。信号を設置する必要がある場所とか。早急をお願いしたい。
- ・交通事情も考慮すべきである。特認校制度の導入をするか。
- ・近年、夏期の気温が高めなので、小学校の長距離での通学は大変かと思います。
- ・近隣学校と統廃合する場合は、通学距離が遠方となる時は市より通学バスを出してもらいたい。安全性を考慮の為。
- ・学級数や人数も大切ですが、通学路が真っ暗だったり、林の中を通らないといけなような学校には通わせたくないなので、通学路の見直しもしてほしいです。
- ・近隣学校と統廃合すると通学距離がのびる地域が出る、小学1年生と小学6年生では、歩行差もある。スクールバスを市内で走らせる事も検討してほしい。親の負担(心配)も減るのではないかと思う。
- ・スクール専用車両を配置する。(通学区の拡大の場合)
- ・小学生低学年の通学距離は近年気候により、暑さや防犯的な意味で学区変更などあればその機会にバスなども活用出来れば。

- ・小学生の児童バス利用～通学距離が長い場合！（海外は多数有！）イエローバスを検討。
- ・児童数の減出に伴い、登下校時の危険性（不審者等）があるので、できるだけ、近距離通学が望ましい。
- ・学校数が足りないと思う。小学校1年生が歩ける（ランドセルを背負って）距離を考えて学区を設定した方が良い。
- ・私の所では自宅から学校まで遠くて休むことなく子供も孫も通っていました。かえって体も丈夫になったような気がします。
- ・距離よりもランドセルや荷物の重さが気になります。ランドセルが軽ければ長い距離を歩いても大丈夫かと思います。教科書を置いて帰る事を許可してほしいです。
- ・通学の距離を短く。スクールバスなどの利用等。
- ・南中への自転車通学の長い距離と道路環境があまり良くないと思います。
- ・今の子供達には考えられないと思いますが、老人の自分が小学生の頃は50人学級で6クラス、皆歩いて通学したものです。無理と言われると思いますが、歩いての通学は良いものですよ。友達の町内もある程度わかりますから。
- ・最近は何事もないので、なるべく皆さん近場の学校に通えると良いと思います。
- ・小学生は、特認校制度でわざわざ遠い学校に行かすより、安全のため、近い学校の方がよい。
- ・児童の登下校時の安全確保の点から通学距離は小学校2km中学校3km未満！！
- ・スクールバスの活用（もう導入されているかもしれませんが）通学距離や登下校の交通安全を配慮して。
- ・市街地と農村部との環境が異なり、単純に距離や生徒数で線引きをすることはむずかしいですが、この点配慮することが大切であります。
- ・なるべく地域での学校が望ましいが、叶わない場合は、バス通学は必須。（幼稚園バスのように）
- ・子供も40才過ぎ、現在の規模、配置？小・中・高と家から近くでした。一番、良かったと思います。
- ・通学も一種のスポーツだと認識して距離を自分の体力増強と考え、少くとも親も理解するくらいの気持ちが必要です。
- ・統合前の町村は、各1校ずつしかなかった。学校は統合してから、小中学が増えましたが、その当時は、通学距離は、関係なかったので、子供の配置換えは、元の小中学校にしたほうが良い…？
- ・子ども達の安全を第一に考えた通学区、通学方法などの検討をお願いします。

4 学校教育（指導等）について（34件）

- ・子供達が成長や自立をするのに親達やマスコミなどの意見を気にしないで、先生や学校でしっかり教育をして下さい。子供の為ですから。

- ・私たちの時代は、1 学級当たり 50～55 名の 8 クラスのありマンモス校でした。人数が多いほど上級生との交流多く今となっては楽しい思い出です。素晴らしい人材が世に沢山の方々居ります。このアンケート調査を見ますと、どうも父母会寄りで子供たちの将来や、人間性を育てるには問われていないと思います。少子化で父兄の要望が多くなり学習塾のような勉強を教えてほしいような気がします。一応は理解しますそこで提案です。昨今の先生方は小さい時から人生経験が少なく、自分だけ頑張れば、思いでそこで学問はできると思いますが、人生勉強等わりあい常識がなさすぎると思います。教える側の先生教育が必要だと思います。小学校では、若手と年配者と 2 人でペア一組担任が教え後の先生は後ろで生徒の学習状態を把握して、分からない子に少しアドバイスをしてあげる又は、終わった後意見があれば聞いてあげるその都度解決できるようすればあまり問題がのこらないと思います。子供とのコミュニケーションが必要です。教育には先生に予算をかけるべきです。少子化で先生になりたい人たちもなれない。定年が伸び年配者も多くなるバランスに知恵を出し予算が増えても小学校は頑張してほしいです。私たちは小学校 1 年生毎日本土上陸作戦に備え竹やり訓練の毎日でした。又艦砲射撃で逃げまどい食料は自分たちで、海で魚をとり、鶏を飼い、ネズミをとらえ役所でほうびをもらい、芋を植えすべて自給で育ててきました。81 歳親父です。43 年少年団活動現役です。子供は変わりません。親と先生、大人が変わりました。
- ・学校へ行くのが楽しみとなるような環境を作って欲しい 特にゲームやスマホでなく、日頃から、工夫して楽しめたら、又友達作りも大事。
- ・歩いて通学するのは子供です。雨の日もあれば雪の日大風の日もあるので。子供達が安全に通学出来ます様に、行政同士意思の疎通をもってやっていただきたいです。
- ・幼稚園教諭をしております。近年「グレーゾーン」と呼ばれる集団行動に困難を感じる子どもが増えているように思います。小・中学校という人生の基盤となる 9 年間で有意義なものにするため、適正な学習環境の検討を宜しくお願い致します。
- ・形ではなく中味！教員の資質を重視したい。教え諭すにふさわしい人間であるか（向上心と長い眼で人を育てることができるか否か）子どもにとって 1 番身近な大人である。良きにつけ悪きにつけ、影響のある人である点考慮してほしい。
- ・小学生 40 人（一年生）35 人⇒この半分くらいの生徒数でないと先生たちが見切れないうように感じます。
- ・主に広い視野のある人間性の教育にも力を。学習環境と先生方の人間性の教育にも力を。
- ・なるべくなら児童、生徒は、少人数で、先生の目がいきとどくようにしていただきたい。少人数が無理ならば、担任の先生を 2 人以上にして指導、見守りができるように考えて欲しい。
- ・学習環境を考える取り組みは良い事と思います。余裕のある学習環境にできたら良いと思います。よろしく申し上げます。ありがとうございました。

- ・ えこひいきしない、凛とした態度で臨んでほしい。いじめのない校風を東松山から先頭に立つことを望みます。
- ・ 不登校にならない、させない、又生徒1人1人に心をこもった教育目指し、正しい事をしたときは褒め、誤ったことをしたときはしっかりと怒り叱る正しい方向に導いていく前向きに生きていける子、生徒になれる様に教育をして下さい。
- ・ あいさつ・マナー・常識ある未来の大人を育てていただきたい。(道路いっぱいひろがって、前から人や車が来てもよけない・電車内で大さわぎ・…) など!!
- ・ 先生にもいじめや差別があるニュースがありますが、子供も先生も1人の人間です。相手を差別する心の人には、先生にははいけません。少しくらい頭が悪くても、大切な人の心を育てて下さい。おもいやり。
- ・ 少子化の時代に、事故、暴力、いじめのない真摯な教育を切望します。
- ・ いじめや部活で今の学校では行けない生徒をいつからでも市内どこでも転校できるようにしてほしい。教師は雑用が多すぎるのでボランティアや民間の力を導入して”教育”に力を入れるようにしてほしい。
- ・ マンモス小中学校時代を経た自分達にとっては、昨今のきめ細かい対応については、まさに隔世の感がありますが、どんな環境であれ、まじめに取り組んでいる先生方には、時代を越え尊敬させていただくものがあります。まじめな先生ほど疲れてしまう、ゆとりのない学校運営をどう変えるか、教育界をあげて、考えていかなければならない問題だと思います。乱筆、乱文の失礼をお許しください!
- ・ 児童、生徒が安全に安心して登校でき、明るい学びの場が保証されることを第一に考えて規模や配置を検討、決定することが望ましいと思う。①激変する社会に対応しながら生きる力を育てる教育現場は大変だと思います。御苦労様です。②予算のこともあり難しいとは思いますが、新任教師の担任1人ではなく退職担任経験元教師とのT.T制を提案します。新任教員指導は元校長、教頭など管理職が多いですが、元担任が必須。
- ・ 今後もより効果的な子ども達の学習を保護して行ってほしいです。
- ・ 教育者の定期チェックを怠らず。
- ・ 適性の規模や配置は数値的に理解できますが教師の能力によって変化があってもよいかも、教師の能力管理や研修、レベルアップや、社会的評価の公開が必要と考えます。
- ・ 科目によって先生選びが良いと思います。
- ・ 教員の質の向上を求めます。
- ・ 学習意欲といじめの問題を同時に考える場合、教員の資質能力等の考慮すべき点もあるが教師の目が届き、子供達からも相談できる(教師に)様な仕組みがほしい(生徒数のみではない)子供達の相互理解ができるような学級を望んでいます。
- ・ 教員の生徒に対する指導がしやすくする。
- ・ 土曜日の午前も授業すべき。夏休みの短縮、3週間程度で良いのでは。

- ・規模・配置も大事だが教員の業務を見直して充実した教育を。
- ・設問の趣旨からははずれますが、英語教育の充実をお願いしたい。これからの社会は日本国内だけを考えるとダメです。英会話が必須！
- ・型枠にはめすぎない事（柔軟性を持つ。例外を認める。）・部活を平日にする。（土、日は試合）・特別に（頭、体）強くなりたい人は、塾又は、市内等のクラブチームに入るべき。
- ・適正というのが数字だけでは難しいのかなとも思う。子供の数の問題だけではなく、教師の在り方も考えて頂きたい。親子から見る良い先生は1人であっても十分にクラスを見られているが、良くない先生ばかりが何人集まっても、良い環境にはなっていない。
- ・外国人専用の学級（学校）を設置する（先生も）小学校の場合、外国人が多く授業に影響が出、スムーズに進まないなど、授業全体に支障をきたす。数校の外国人を集め、専門に授業する。（先生も専門で）
- ・正直、現在の義務教育の内容が良くわかりません。時代の違いでしょうか？今から振り返ってみると一番大事な時間は義務教育の時間9年間にある様に思います。楽しく思い出が残せる様な教室であってほしいです。
- ・子供の特技を活かせる指導。
- ・少子化社会となるこれからは部活動（中学）についての種類にも見直しが必要では？部活動が減るのは子供達にとって、とてもマイナスです。近隣の中学と統合して続ける、増やしてみる等、考えていただきたいです。（文化部はさすが少なくなっています）

5 少子化・都市計画等まちづくりについて（11件）

- ・交通ネットワークの整備など、地域に順応した方法で、学習環境を確保し、さらにより良い街になるとうれしいです。
- ・児童のアンケートも結構ですが、少子化対策の方が早急かと思われまます。
- ・小、中学生との多感な時期のストレス、トラウマはその児童のその後何十年という人生を左右します。少子化だからこそ、ひとりひとりの持つ才能を伸ばす教育（が行える環境）を作り出さねば、市も国も貧しくなっています。適正規模とは？の見直しをお願いします。
- ・既存の団地・住宅等では空いている家が増えているが、若い世代の人達が住み良い環境を造って、長期に渡る少子化対策をしなければ廃校ばかりとなる。
- ・現在の様に少子化が進み、やがて日本人口が、1億を割り込むのも、そんなに遠くないのではないかと云う人もいます。そうすると、子供達の教育問題が一番となる。どの様な環境にしたら一番よいか真剣に考える必要がある。（通学路も含めて）

- ・高坂地区に生徒が集中し過ぎ、市の開発の進め方を見れば予測がいった事。開発の集中が問題。松二、大岡は統合できると思うが、通学手段（通学バス等）を確保することが必要。
- ・少子化時代の中、子ども達が良好な人間関係と社会性の経験を十分出来る視点から、20年位の先々の見通しを持って、改革の検討を行ってください。
- ・家の土地の売り方、街開発をちゃんと考えてやってほしい。
- ・自分達の時代背景と違い、少子化での協調性や“いじめ”にも、目が行き届く、大切な子供達を大事に育てたい。
- ・設問に対して、人口減少問題等が関係しているのではないかと思います。私の環境においては、アンケートに答えるのに苦慮しました。
- ・廃校にともなう再利用方法について、検討いただきたい。

6 その他（46件）

- ・自転車通学、右側を走ったり、並走したり危険 しっかり、講習をしてほしい！
- ・教育の件について、独身者は入れないで会議を行なって下さい。
- ・アンケートでも子供のいない家庭にアンケートと言われても、辛いだけです。今後はよく考えて下さい。
- ・広場のベンチに特定の名前をマジックで（しね。くそ、しねしね、きえろ、と）かいてあった。どんな気持ちで書くのかな？
- ・義務教育中は先生と子供達が会話する時間を多くとり、大人になったときの思い出をいっぱい作って欲しいです。
- ・いじめ、過度競争等の排除、豊かな人間性を希望します。
- ・設問5は、簡単に答えが出せません。もうしわけありませんが・・・。
- ・該当する児童が我が家にいないので、あまり期待されるアンケートにならないのではないかな。
- ・特認校制度が出来た場合、（白山中のような…）通学手段として、スクールバスを巡回させるなどが望ましいと思う。
- ・桜山小学校をブランド化する。制服とか、バス通学とか。
- ・あまりにも多すぎる生徒さんを抱える先生方がいるのは大変だと思います。特認校制度を活用し、その学校に特色を持たせ生徒さんを集められればと思います。小学校低学年はやはり急に多人数となると先生方も生徒さん等のケア、先生方の体調もあるのなるべく負担の少ないものになるといいなと思います。
- ・子供たちが幸福に送れますよう願っています。
- ・小・中一貫校が望ましい。
- ・事故、事件が多くなっている今、生徒を守る環境づくりをしてほしいです。
- ・児童、生徒の立場になって考えてください。
- ・児童・生徒の増えることを期待します。

- ・年に関係なく（20代～100代）、小学生の授業を受けられるようにする。ただし、20才以上は、有料とする。又親子同学年はダメ。
- ・子供さんの荷物が多く袋をぶらさげての通学は大変と思います。
- ・親の教育に関する意識の格差があるように思います。
- ・あくまで個人的意見です。私の娘（現在社会人4年目）は他県の国立大学法人付属小中学校でした。規模、配置についてはもちろん、素晴らしい教育環境だったと思います。改革をする際、国立大付小中などへ是非、見学、研修される事を望みます。
- ・アンケートの設問は、法律、規則に則ったもので、アンケート結果から今後の審議や方針を策定する上での資料になるとは思えません。現状の高坂小学校や大岡小学校の対策を協議するのが先だと思います。過去において適正規模の検討を怠っていたとしか思えません。御一考をお願いします。
- ・今回のアンケート要望ですが、私自身には子供がおりませんので的確な意見が出せませんので今回は無回答にて返信いたします。
- ・もう少し若い人に当ててほしかったです。
- ・特認校制度は、すべての学校が同一の状況になったら始めるものだと思います。特認校制度を始める前に児童数が1学年10人にもならない学校があることについて、市はどのように考えていたのか。その人数の少ない学校から特認校に希望していく者が出了場合にさらに人数がすくなくなることについて、減ってしまう学校についてはどうするのか。少ない人数の学校は、その学校だけでは行事（工場見学、宿泊学習、修学旅行）が行いにくい状況となっているが、市は何も考えていないとしか思えない。特認校制度を始めるよりも先に一定数の子どもの確保が難しい学校をどうして行くのかを考えてスクールバスを出して他の学校と一緒に統合していくことが先にやるべきことだと思う。はっきりいって、人数の少ない学校の事を置きざりにしているとしか考えられない。
- ・小中学校の情勢が分からず、自分たちが思った数を入れました。
- ・子供達の安全第一を考えて決めて欲しい。
- ・学校統廃合の問題にもなると思うので、登下校の安全についても考慮していただきませうお願いします。
- ・個性を伸ばしつつ、グループ等でのあり方を解り、学業に励んでほしいと思います。
- ・大岡小が今後どうなるのかが心配です。子供が通う可能性がある（引っ越しして）ので、数年後、どうなるのかがとても気になります。複式学級ではなく、同じ学年の子と学べる環境にと思っています。
- ・現在の教育現場みてないのであまりはっきりと答えが出ません。とても私共の子供は、先生がよく見ていてくれたと思っています。現在の教育現場をみてから回答したかった。自分達の子供とどう変わったかな？と思うことがあります。
- ・住民票をおいていない市町村の保育園に入っている方も多いので、小学校も、変更できたらいいなと思います。

- ・ 子供は国の未来を担う大事な宝です。教育はどの課題より最優先に考えるべきです。校舎のあり方や距離は、もっと自由に考え、子供達が学べる環境に対応をお願いし、自殺に追い込む事の無い様、生命の大切さを教えるべきです。
- ・ 入学してからいきなり学校の変更があると非常に困る。小学校の時にはそういう話が実際にあって、強制される学年も今はあると思う。せっかく仲良くなった人を離すことにもつながるから本当にそういうのはやめた方がいい。とても迷惑。学校を建てかえるときの判断がしっかり出来てないからそうなると思う。反省して下さい。意見はしっかり反映させて下さい。アンケートに協力したのですから。
- ・ 統廃合はすべきではない。地域の学校は守るべきだ。
- ・ 質問事項と現実社会状況とのギャップ有ります。
- ・ 高坂小を小中一貫校にしてはいかがでしょうか。（中学で南中になると遠すぎる。高坂地区は子供が増えているため）
- ・ オンラインで授業すれば解決する。
- ・ 誰にとっての適正であるか。子供が楽しく学校生活を送れることを祈っています。
- ・ 子供達の幸せを第一に考えていただきたいです。
- ・ 小学、旧制中学戦時中でしたのでご参考まで
- ・ 通学中の教科書類が重過ぎるので、学校に置いておく、またはタブレットにするなどの対策も併せてお考え頂きたい。
- ・ 実際にあたっては、地域住民、該当児童の保護者達の話しをよく聞いて、しっかり話し合ってから決めて下さい。一方的に上から決めつけしないで下さい。話し合いには時間がかかるので、十分ゆとりを持って話し合いを始めて下さい。
- ・ 子どもをとりまく環境が複雑な現代ですが 1 人 1 人の子どもを大切にしたりくみを期待します。
- ・ 小学校の校庭は楽しめる物があまりない様で？体力が身に付き楽しく学校に行く気分が半減している気がします。危ないと言って遊具を減らしすぎではないですか。
- ・ 小1の学級がなぜあんなにいっぱいなのか。担任の先生方は一生懸命やっています。3クラスにするなら1年生を3クラスにすべきだった。小学校最初の1年は大切です。また、いじめ問題も学校だけでは抱えきれない程度になっていると思う。市全体で家庭を巻き込んだ対策を練ってほしい。親が自覚なしにいじめや意地悪を陰でしている子多いと感じる。あいさつをしても返さないなど、態度も悪い。家の問題なので、もっと家庭に責任をもたせ、全体で子どもを見守るべき。(新明小)
- ・ 子供達の安全を考えると、夏の暑さや最近のドライバーのマナーの悪さ、不審者等の危険を少しでも減らしてあげたらと思います。下校中の子供を見かけると、無事帰ってほしいといつも見守っています。

アンケート自由記述について【保護者】

1 各設問「その他」の記述内容について

設問1(2) 小学校の学級数(学校規模)を選んだ理由について (55件)

※ 【 】は、設問1(1)で選んだ回答

設問1(1) ア 1学級 イ 2学級 ウ 3学級 エ 4学級 オ 5学級

- 【ウ】 教師とのつながりが深く持てる。
- 【イ】 いま現在が2学級で特に問題がなく、もし3学級になった場合、空き教室がなくなり、子供たちは持ち物の置き場がなくなるため。
- 【ウ】 1クラスの人数が多すぎる。目が行き届くようにする為。
- 【ウ】 数人からのいじめがあり、クラスが増えれば、それだけ分散されるもしくは同じクラスにならない可能性もあるので。
- 【イ】 先生や大人の目が行き届きそう。
- 【イ】 自分がそうだった。
- 【オ】 集団が苦手な子もいる。
- 【ウ】 先生の目が、行き届くと思うから。
- 【エ】 少人数の方が教科指導において細やかに見られる。
- 【ウ】 一担任がみる生徒数は少ない方がいいと感じるから。
- 【ウ】 教員の目が行き届き、適した指導ができる。
- 【イ】 学年行事等の費用<1人あたり>の負担軽減。
- 【ウ】 少人数の方が、先生の目が良くとどく様な気がする。
- 【ウ】 教師の目がひとりひとりに向きやすい。
- 【ウ】 目がとどく。
- 【ア】 人数が多いと色々と問題が起きやすい。
- 【ウ】 4クラスまでであると同じ学年でもお友達を把握しきれない。
- 【ウ】 教員や学校に関わる人たちの目が児童に届きやすい。
- 【オ】 設備や教師と生徒の関係に支障がなければいくらあってもよい。
- 【オ】 設備や教師と生徒の関係に支障がなければいくらあってもよい。
- 【ウ】 先生の目が生徒に届くから。
- 【エ】 現状で4学級なのでこのままでよいと思うから。
- 【イ】 こどもが覚えられる友達の人数の限界。
- 【ウ】 1人1人関わりを密に持てる。(先生と生徒間の)
- 【エ】 空教室の有効利用。
- 【イ】 学年の人があまりいないから。
- 【ウ】 私たちの時代が3クラスだったのでちょうどよいと思ってたから。

- 【ウ】 学年が 85 人くらいなので、1 クラス 30 人以下が丁度良いです。40 人クラスは教室いっぱい、苦しそうです。
- 【ウ】 1 クラス大人数よりも少人数の方が様々な点で良いと思う。
- 【エ】 教員増員。
- 【ウ】 学習面で、生徒のサポートがよりしやすい。
- 【イ】 学級数が多すぎると知らない子供が多くなる。
- 【ウ】 授業参観がみやすく勉強の様子がわかりやすい。
- 【ウ】 授業参観に行っても自分の子供の勉学の様が見やすい。
- 【イ】 人数によって。
- 【ウ】 20人以下で教師の目の行き届くようなクラスであってほしい。
- 【ウ】 1学級の人数が多いと全然クラスの子の顔と名前が一致しない。
- 【ウ】 少人数クラスを保つため。(1クラス15~20人)
- 【イ】 少ない方が親も生徒を把握できるので。
- 【エ】 ひとクラスあたりの人数を少なくするため。
- 【オ】 学級数よりも学級人数を重視。
- 【ウ】 先生が一人一人に目がいきやすいと思う。(小人数)
- 【ウ】 2 学級だとあれかこれかの 2 択、勝ち負けなど差が目に見える。
- 【エ】 いじめの加害者と被害者を次年度、別のクラスにしやすい。
- 【ウ】 一人一人に目が行き届く。
- 【ウ】 目が行き届く。
- 【ウ】 クラス人数が少ない方が先生の目が届きやすい。
- 【ウ】 狭いから。
- 【ウ】 少ないクラス数だと感染症が広がるのが心配。
- 【ウ】 子どもの数によって変えれば良い。
- 【ウ】 先生の目が細かく届きやすい。
- 【ウ】 その設問について深く考えた事はなく要望もないが…。
- 【無】 人数(児童数)によって変わるので選べません。
- 【エ】 役員の回数が減り親の負担が減る。
- 【イ】 先生などの目も行き届きやすいから。

設問 2 (2) 小学校の学級人数を選んだ理由について (29件)

※ 【 】は、設問2(1)で選んだ回答

設問2(1) ア 10人以下 イ 11～20人 ウ 21～30人 エ 31～40人

- 【ウ】 席の配置が、後ろや横ギリギリにならないので、教師が近く、より、話が聞きやすく、一体感もあると思う。
- 【ウ】 30人以上だと教室が狭い。
- 【ウ】 少なすぎても多すぎても良くないし、上限。
- 【イ】 個人を尊重する尊重される環境は、少人数の方がその機会が多く出来るのではないかと思います。一人一人が、埋もれずに能力を発揮できる教育を希望致します。
- 【ウ】 小1～2年生は㊦だが、それ以外は25人～35人が望ましい。
- 【ア】 少人数であれば学校に行けるとい子がいる。
- 【イ】 少人数の方が、落ち着いて授業を受けやすいと思う。
- 【ウ】 教室内に適度な空間ができる。
- 【ウ】 この人数以上での経験がないので丁度いいと思う。
- 【ア】 人数が多いと役員になった時大変だから。役が多すぎる。地区役員もあるから大変。
- 【ウ】 先生の目が届くぎりぎりの人数が30人くらいだと思います。
- 【イ】 多すぎて一人一人の面倒を見切れないという状況は望ましくない。
- 【エ】 現状で30～40なのでこのままがよい。
- 【エ】 自分の時は、1クラス40人×3クラス=120人で、少ない方だった。
- 【ウ】 集団感染を少しでも防げると思いますので。
- 【ウ】 教室が広く使える。
- 【ウ】 高学年になると一人一人が大きくなるため教室で圧迫感を感じる。
- 【ウ】 教室をゆったり使える。
- 【イ】 授業参観で自分の子供の発表の回数が増えたり他の人の発表をしっかり集中して聞けるようになる。
- 【イ】 授業時間が足りてないと思うので、先生方の事を考えると。先生も生徒も時間、一人ひとりに手を差し伸べる事を考えて。
- 【イ】 担任の先生の負担を減らした方がよい。
- 【ウ】 人数が多いと教室が狭くなる。(高学年になると)
- 【ウ】 担任1人が見られる限界だと思うから。もっと少ない方がいいが、団体での力や美を感じられなくなるのも残念なので。
- 【エ】 法令で定められている範囲は先生がきちんと見て、できる人数だからなのだと思う。法令内で目が行き届かないだとすれば、先生の能力の問題もあると思う。将来、行く学校(高校とか)が少人数制とは限らないと思うから。
- 【ウ】 少人数の方が勉強(授業)に集中できる。

- 【ウ】 子供同士の関わりが深くなる。クラスの仲間意識が高まる。
- 【ウ】 その設問について深く考えた事はないので要望もないが…。
- 【ウ】 勉強面でも、教員の指導が行いやすく成績が良くなる。
- 【エ】 32、3人くらいがよいと思う。40人は多い。

設問3(2) 中学校の学級数(学校規模)を選んだ理由について (22件)

※ 【 】は、設問3(1)で選んだ回答

設問3(1) ア 1学級 イ 2～3学級 ウ 4～6学級 エ 7学級以上

- 【ウ】 まだ中学校の現状を体感していないので、何とも回答できません。
- 【ウ】 イジメがあった場合、クラス替えがある事が、精神的苦痛を軽減できる。
- 【ウ】 現状がわからない。
- 【イ】 中学生はむずかしい年頃なので、逆に3～4級程度で先生が目が届く方がよいと思う。
- 【エ】 能力に応じた授業も出来る可能性。
- 【ウ】 人の層に厚みが出る。
- 【ウ】 人間関係が多様化しやすい。
- 【エ】 自宅から近い学校がどのような学級数でも一番良いと思うから。
- 【エ】 個人の学力のあわせた学習指導を行ってほしいです。
- 【ウ】 大企業で働く将来も想定して、ある定度多人数での経験もさせたい。
- 【エ】 本人の希望、友人を数多く持てるから。
- 【ウ】 教員増員。
- 【ウ】 1クラスあたり人数を少なく広く深く観られる環境。
- 【ウ】 そもそも学校にもいれてもらえないのにこの質問は無い。
- 【イ】 学年で知らない友人がいない。話したことがない！でもクラス替えの楽しさや競争心等を考え、適度な人数だと思った。
- 【ウ】 いま現在がこの学級数で、特に問題がないため。
- 【イ】 先生や学級側から、見やすい、把握しやすい。
- 【ウ】 学級数より、クラス人数が20～30人くらいがいいかと思う。
- 【ウ】 学級数が多ければ、1クラスあたりの人数が少ないため、授業に集中できる。
- 【ウ】 学級数は子供の数で決まれば良い。
- 【ウ】 40名だと教室が狭く感じる為。
- 【ウ】 子供の成長と共に設定人数に対して1人1人が大きく、教室がせまく感じ、不便さが生じている。(荷物が置けない)

設問4(2) 中学校の学級人数を選んだ理由について (24件)

※ 【 】は、設問4(1)で選んだ回答

設問4(1) ア 20人以下 イ 21～30人 ウ 31～40人 エ 41人以上

- 【無】 設問3-(2)と同じ。
- 【イ】 少なすぎても多すぎても良くない、上限。
- 【イ】 クラスの人数が多いと、不登校になりやすい、先生が声をかけなくなるから。
- 【イ】 いじめ問題を解決してほしい。
- 【ア】 集団が苦手な子の為。
- 【イ】 教科学習のきめ細かい指導が行える。
- 【イ】 少人数の方が、授業も集中できるのではないのでしょうか。
- 【イ】 教員の負担の低減による、学校の質の向上。
- 【ア】 少人数の方が学習面でよく見てもら。えるから。
- 【イ】 状況が許す限り少人数が望ましい。
- 【イ】 状況が許す限り少人数が望ましい。
- 【ウ】 学校にあわせませす。
- 【ア】 個人の学力のあわせた学習指導を行っていただきたいです。
- 【イ】 スポーツ・勉強の力の差を大きくならないように対応できる。
- 【ウ】 1人ぼっちにならない様、気の合う友人を見つけられるように小学校より多めの人数。
- 【ア】 少人数の方がスクールカーストなど意識を持たせなくなる。
- 【イ】 どうでもいい。
- 【ア】 せつかくの義務教育ならば、放課後の塾通い等しなくてもよいレベルまで、学校でできる事が一番だと思うため。
- 【イ】 難しい年ごろだからこそ、人間関係の見取りが必要だと思う。40人もいると全体は見るけれど(あと気になる生徒)一人ひとりまで目が届かない。
- 【ア】 一人一人の意見を出し合える環境が作りやすいと思う。
- 【ウ】 これから行く高校が少人数制とは限らず、目が届くまたは指導の細やかさは、教員の素質の問題だと考えているから。いろんな性格の友達と1つのことを成しとげる経験も必要だと思っているから。
- 【イ】 感染症が心配。(多人数だと)
- 【イ】 40名を超えると教室が狭く感じる為。
- 【イ】 1クラス25人～30人くらいが先生の指導もいきとどきやすいと思うから。今通っている学校のひとクラスの人数が多すぎて席もきつきの状態。

設問5 児童・生徒数の減少が見込まれる中での対応について (38件)

- ・バス送迎。
- ・1クラス15人程度なら、少人数の良さを生かした環境へ見直していくのもいいと思います。
- ・分からない。(遠くへは通わせたくない)
- ・学習能力に応じたクラス編成…そういう意味では学年へだてなくて、ウ?
- ・無理に統合する事はない、少人数でも良い。
- ・不登校気味の生徒など小人数のクラスを設置してほしい。
- ・子どもの学習に、適した環境作りをお願いしたい。
- ・農業振興地域をやめる。(移住、住宅が建てられる。)
- ・自治体にかかわらず越境通学を可能にする。
- ・スクールバスを導入する。
- ・考えられない。
- ・部活動などは近隣学校と統合する。(少ない場合)
- ・近隣学校や他学年などとの合同学習の時間をつくる。
- ・逆に多人数による問題があるようなので、短時間の通学・きめ細かい指導を望みます。
- ・その学校に通っている児童・保護者の意見を尊重する。
- ・逆に人数が多く、問題があるようなので、短時間の通学、きめ細かい指導の維持を望みます。
- ・学校の特性(学力・運動)などによって個人が選べるようにする。
- ・パソコン、タブレットの教育。
- ・部活だけは近隣の学校と統合する。
- ・今の状態で良い。
- ・スクールバス等の通学。
- ・スクールバス通学制にする。
- ・バス通学できるようにしてほしい。
- ・少数ならば一人一人密に関わって欲しい(指導)学習面、生活面高度で充実した指導教育を。
- ・現時点ではわからない。
- ・子供の教育に日教は必要ない。
- ・ア・イのようにして、子供の通学時間は増え負担を与えるよりも少人数のままだも教師の数は変えず(国が教師の給与・保険)、質の高い教育をすること(特認校の導入)により、人数が増えることが望ましいと考えます。
- ・学校によって生徒数が極端な違いを均等にする。
- ・少子化だからこそ、1クラス人数を減らして、質の高い学校を目指せると思う。
- ・ケースごとによく考えて対応することが大事だと思います。
- ・小・中一貫教育校。

- ・少数すぎてもかわいそうなので、バスなどでなるべくたくさんの仲間と学べる環境が望ましい？
- ・大規模分譲地は、初めから余裕のある学区にする。
- ・現状で良い。学区が変わるとトラブルのもとになるし、人数が少なくなったらそれで良い。
- ・通学距離を考慮した変更が必要と考えます。
- ・今のままで特に環境を変えない方が良い。
- ・現時点ではわからない。
- ・他学校との交流を深めたり、小中一貫校教育を広げる。

2 設問7 自由記述について

1 学級数・学級人数について (19件)

- ・クラス数が少なく、クラス替えで顔ぶれが変化しないのは、イジメがあった時に、イジメられている側には苦痛でしかない。少なくとも小学校は3クラス以上、中学校は5クラス以上はあった方が良くと思います。
- ・先生が目が行き届く人数がベストかと。
- ・クラスの人数が多くなるとデメリットも多くなって生徒が行きにくい環境が生まれる。先生も実際、不登校の子をほっといているように思う。
- ・先生一人に対する児童の数を減らすことで先生にゆとりをもって指導に当たって頂きたい。現状では無理がきている。
- ・クラス編成は小学校の場合、低学年・高学年にかかわらず30人以下にすべきかと思っています。現在子供のクラス(小5)は35名在籍で、学級崩壊になりかねない状況で親としては不安です。アシスタントの先生をつけるなど2名体制の導入も検討してほしい。
- ・あまりに大人数では先生が目も行き届きにくく、また、少人数のほうが他学年との交流もできとても良いと思います。
- ・一学級の人数を現状よりも減らして、児童・生徒一人一人により目を向けて頂けたらと思います。
- ・1クラスの人数が多すぎて、教室がせまいのは、良くないと思います。
- ・私自身が教室に目一杯の児童がいるクラスで不快な思いをしたので、30人以下クラスが良いと感じております。先生方の負担軽減にも繋がると思います。
- ・1学年1クラス、少人数ではいじめにあった時に逃げ場がありません。クラス替えできることは、人間関係が変化するいい機会だと思います。
- ・1学級の人数が35人を超えると、教室にゆとりがない、教師の目も行き届かないという気がします。30人以内が良いと思います。

- ・中学生は体も大きいのに、一人一人のスペースが狭すぎる。もっと物理的にも余裕あるようにしてほしい。(クラスの人数が多すぎる)
- ・学級数は問題ではなくて学級人数は少ない方が良いと思います。通学距離は地域によって条件が違ふと思いますので、難しい問題です。
- ・子供への指導を考えると、少ない児童数、必要に応じて、教員の方々に補助教員つけて頂くなどの配慮が必要だと思います。
- ・小学校、中学校の学級人数については、(少子化の為)人数が基準に合っていない場合でも、3クラス~4クラス小学生の場合、中学生では4クラス~5クラスはたまった方がいいかと思います。子供の数もそうですが、人数が少なくても、先生の目が行きわたり、勉強面が伸びるのではないかと思います。
- ・現在の副担が複数のクラスを持つのではなく、一クラス一副担任(一クラス2名先生がいる)状態にしてほしい。先生の一人に対する負担が多すぎる。
- ・1学年(1学級)の人数が少ないので、友人関係等心配になります。近隣学校との統合を宜しくお願い致します。
- ・南中が全学年8クラスになるのは異常に多すぎる。白山中にサッカーなど魅力的な部活がなければ、いくら特認校にしても子供が行きたがるわけがない。南中も8クラス程度に人数が増えるならダンス部など部活を増やしてほしい。
- ・多数の生徒を一学級にというと、最近の事件等(いじめ etc)も会場でわからなかった学校が多かったので、見えづらいのでは?と考えました。少なくなった分気を付ける事もあるかと思っています。

2 学校規模・学校区等について (17件)

- ・少子化によりやむを得ず学校統合をする場合には遠方生徒の安全性を考慮し市よりスクールバスを出して頂きたいと思います。
- ・少子化で、理想通りできないことは仕方ないので、できる中でやっていくしかないと思う。地域差で悩むより、全国均一の教育ができる工夫を考えるべきだと思う。
- ・少子化が進む中、登下校距離が長くなるのは、やむを得ないかもしれませんが、不審な事件が増加しており、行政主導で、子どもの安全を確保すべき。保護者、PTAに頼らずに。(子どもを持つ家庭の負担をこれ以上増やさず)
- ・少子化、教育不足などの問題を考えると、学校を統廃合し送迎バスなどを利用したほうが、指導や協調性、部活動の活性化など、良い方へ向くのではないのでしょうか。教員の質の低下も心配です。無理矢理、増やすのではなく、質を保った教育現場を望みます。
- ・学校区があるため道路1本で近くの学校にいけない場合があるようです。児童、生徒数のかたよりを無くすためにも学校区を見直ししても良いのではないかと思います。
- ・子供が少ない学区の小学校では学区を広げ、中学校なら自転車を使用したり、バスを

使うのもいいと思います。

- ・学区を変更した方が良い。
- ・適正規模・適正配置については、市の未来予想と推移を元に慎重に対処すべき。数年前の高坂小・南中通学区域変更の様なコミュニティや子ども、親の心を無視する様な進め方はあってはならない。対象地区の住民や家庭に丁寧な説明をし、協力しながら進めて頂きたい。
- ・学校を少し増やす。
- ・数年前、校区変更の問題で大変悩みました。高坂地区はこれからも児童数が増えることが予想されますが、同じ様な事が起こらない事を願います。
- ・事前予告なしに「校区を変更する」という、持って行き方だけはやめて頂きたい。協議をたくさん重ねて行政としても出来ることをたくさん考えた上で、色々な事を提示してほしいです。現状も理解していますが、児童生徒にも心があることを第一に考えて今後の小学校・中学校の大規模化に対応して頂きたいと存じます。
- ・教員の質の維持のためにも、統廃合はやむを得ないと思います。
- ・以前、市役所の方から「学区は昔の地形でその地域に合った分け方をしている」とお聞きしましたが、今と昔とは違うので見直して欲しい。
- ・学区設定の変更等の検討事案があるなら、その内容を早めに学校や保護者に伝えてほしい。今通っている学校から違う学校に移動させることのないように配慮してもらいたい。
- ・小学校地区別での行事が地区により子供の数が全く違うため、地区に対しての分け方を見直すこと、地区での行事をなくしてほしい。(かるた大会)
- ・夏に引っ越しをしたが、学区により選択肢が狭まりとても苦労した。学校が見える距離に家があっても、道路で線引きされている為、遠くの学校に行かなければならないのは、おかしいと思う。道路で区切るのではなく学校からの距離で区切ってあげてほしい。
- ・あきらかに高坂小(桜山小)、南中(白山中)をターゲットにしたアンケートで、意図を感じる。どうせ、通学区域を変更するなら平等に市内全部を検討すべき。新制桜山小を作った時のように、新しい学校として運営するべきだし、市内どの学校に行っても、子ども達の選択肢が同じになるようにすべき(部活動、受けられる教育等)。まずは、子ども達が新しい学校にすすんで行きたいと思えるような環境作り、不平等感のない編成を考えてほしい。急場しのぎではなく、双方の立場でよく話し合ってから結論を出すべきだと思う。

3 通学距離等について (29件)

- ・松一小～市の川小エリアの学区見直しが必要。通学距離的におかしいと思います。
- ・通学距離も大切ですが、安全に通学できるか市の通学路の見直しをぜひお願いします。

- ・通学距離に関しては、検討課題としてほしい。特に小学生低学年などは、荷物をもって長い時間をかけての通学は厳しい。また、帰宅時間も高学年になる程、冬などは暗くなってからとなり、危ない。
- ・通学距離が法令で定められている事に驚きましたが、その距離が少し長すぎると思います。時代は変わり、昨今では通学距離が長い事により思わぬ事故につながると思います。
- ・通学距離が長いと事故や事件に巻き込まれるのが心配。適正な学区の編成をしてほしい。
- ・現在、小学校まで徒歩で約1時間かかっています。バスやタクシーの乗り合わせ通学等があると、保護者も通学路での事故の心配も少なく、子供も登下校で疲れ、授業に集中できなくなるようなことがなくなると思います。子供が少なくなる中、見守り隊の方々の協力がなければ安心して登校させられません。費用がかかってもいいので通学手段を検討して頂きたいです
- ・登下校に無理なく安全に通える距離でお願いしたい。
- ・「学区外」との理由で、明らかに自宅近くの小学校（もしくは中学校）の方が近いのに通えないのはどうなのかな?と思う。もう少し柔軟に対応して欲しい。小学校低学年の児童などは特に、遠くの小学校まで通学するのは大変ではないかと思う。
- ・クラス数・クラス人数のバランスは大切だと思いますが、登下校の距離はやはりあまり遠すぎない方が体力的、安全面的にも良いと思う。交通量が多く、危険な道には信号、街灯等の整備を極力お願いしたい。
- ・中学校は1人で下校しているのを見かけます。女の子は特に夕方1人で長距離を歩かせるのは心配です。
- ・通学距離を長くするしかないなら、スクールバスを検討して欲しい。
- ・現状では置き勉の導入がなされておらず、非常に重いランドセルを背負い、3kmの道のりを歩くのであれば、3kmの通学距離は適正ではないと考えます。
- ・通学距離について、学校までの道のりが遠く、お友だちもいない為、長い距離を歩く事が心配。昔とちがい、気候も大幅に過酷だと思うので、多少の見直しをしてほしい。
- ・自転車使用出来る通学距離をもう少し短くしてもいいのでは?
- ・中学生の荷物の重さを考えると、松山中学校は全員徒歩ですが、1km以上の距離を歩くのは、背骨、腰への負担がとても心配です。荷物を軽くする工夫や自転車通学をOKとするなど、対策を望みます。腰痛を抱える中学生が多すぎます。
- ・小学校で4kmは遠すぎるのでは?法令に疑問である。校区の境界の家庭に対しては柔軟対応をとってもいいと思います。
- ・中学校の通学距離は、徒歩か自転車でかわってくる。徒歩の5kmは遠いかと思います。
- ・小学校の通学距離が4km以内というのは遠すぎる。3km以上離れている場合は他の学区でも家から近い小学校に通学できるようにするか、バス等を出して欲しい。小中

- に通学路の整備をちゃんとしてほしい。(歩道・自転車の確保、歩行者用信号など)
- ・下校時学童などで下校が少人数又は 1 人などになり不安なので自宅まで遠い所はバスなどをだして欲しいです。
 - ・学校の統廃合を行い、通学距離が長くなってしまった場合には、スクールバスを導入するなどしてもよいと思う。
 - ・スクールバスや市内循環バスを利用して、安全な通学路確保や通学時間短縮をすれば、4km 以上 6km 以上の生徒も登校しやすいと思う。
 - ・スクールバスをとりいれてほしいです。市内循環バスを利用した通学など工夫すれば少子化に対応できるのでは。特認校にも通いやすい。統廃合しても不便になりにくい。
 - ・設問 6- (2) 徒歩と自転車では、同等に考えるのはむずかしいです。
設問 5 少子化もですが、私の地区では、あずま町問題があります。正直、バス通学は気分が悪いです。暑さ、寒さなど小 1 から経験してこそその小学校徒歩通学ではないでしょうか？ 危ない所も、そう学ぶのでは？ もっと遠くから通学している子などいます。あずま町の特別あつかいに不満があります！
 - ・近所に同じ学校の子がいないと、朝や帰りが親として心配なので通学する学校は、基本、今と変わらずにしてほしいです。
 - ・帰りも地区別下校の方が一人で帰ってくる回数がへって安心するのでは…。
 - ・特認校用の通学バスがあるともっと利用しやすいと思います。
 - ・場合によっては、バスを出して下さるのでしょうか。
 - ・子供への犯罪が増えている事と、少子化で子供が減っているので通学班の人数が足りなくなって来ている事を考えて、有料で良いのでスクールバスの検討をしていただきたいです。
 - ・小学生に関しては、登下校で危険なことも多いですし、バス通学を導入するのも、いいと思います。

4 学校教育（指導等）について（20件）

- ・各クラスに副担任を配置すれば、教員も休暇が取得しやすくなり、業務負担も減ると思う。今後、特認校が増える場合は、スクールバスの運用も検討すべきだと思います。
- ・「特認校」指定を受ける学校に魅力がなければ特認校にする意味がないと思う。
- ・最近、支援級へのクラス変更する子が増えているそうです。集団が苦手、勉強したいけど、先生が苦手という子もいます。ハードルはたくさんあると思いますが、自由選択授業というスタイルが望ましい。
- ・不登校になりそうな生徒がいられるような少人数のクラスを設置してほしいです。授業を受けたくても大人数だと怖くて授業が受けられない生徒も増えているので。(性格的、心の傷などをおってしまった生徒のため)
- ・小学校のクラス人数は 30 人以下にしていきたい(小 1 に限っては 25 人以下)正

直、現状では教員の目が全く行き届いていないと感じる毎日である。

- ・学校の質の維持、向上の為には、ある程度の教員数規模を確保する必要があると思います。その規模を目安として、児童数、生徒数を考え、学区を設定していく方が良いと思います。規模が小さいと、児童・生徒のやりたいことができていなかったり、学校側が希望に沿う事も出来なくなると思います。
- ・子どもが少ないからといって、本採用の教師を減らし、講師等で対応すべきではない。特に中学校の美術や技家では、出来る指導等に差が生まれ、子どもに不利益が生じる場合がある。
- ・中学校では、授業を理解している子と、遅れをとってしまう子の差が激しいので、1クラスの人数を少なくして、理解度に差が出ないようになったらと思います。
- ・市内の学校全て同じ、公平な教育ができるようにしてほしい。
- ・1人1人の個性を伸ばせるような環境作りをして頂けたら良いと思います。
- ・学校行事を減らしすぎ。勉強も大事ですが、行事も大切。特に中学の文化祭。
- ・子供の数に対して先生数が少なく、先生にも負担だと思われ、子供も勉強で解らない事があっても、先生が多忙すぎて(部活でいないなど)聞くタイミングを失っている。
- ・一人一人きちんと生徒にあった指導をして頂き、個性と学力を伸ばせる学校にして欲しい。
- ・教師の質が一番だと思います。
- ・特認校だけが、小中一貫を進めたりするのでなく、市全体で小中一貫であったり、中1のギャップをなくす取組を考えてもらいたい。北本市などで参考になる取組をしている。
- ・1学級あたりの人数が20人でも40人でも、先生に指導力・統率力があれば問題ない。統廃合にあたっては通学路やスクールバス等環境整備が必須だと思う。
- ・現在、白山中学校(桜山小学校)で行っている通学区域に関係なく受け入れる制度は、生徒あつめに走っている様に見受けられる。そのため(多くの生徒を確保する)白山の教師は対面を保つことに必死になり、生徒の教育を疎かにしている。小・中一貫が一番……保つことに必死になり、市の教育姿勢に疑問を感じてはならない。
- ・学校へ行きたいと思える様な環境作り。
- ・きめ細かな指導が行えることを第一に考えるべきだと思います。
- ・学年で1つの教科を複数の教員が関わる時、平等な授業内容になるようにしてほしい。

5 少子化・都市計画等まちづくりについて (7件)

- ・一部地域の児童数が増え、ある一部は減っているという状況の改善をしてほしいと思います。
- ・高坂が水害で大変な事になったので、住宅を建てる地域を見直しませんか。大岡地区は安全です。自然もあります。住宅が建てられるようにして下さい。このままでは太

陽光パネルだらけになってしまいます。20年後は産廃の山です。

- ・学校などにより児童・生徒の人数に偏りがでないよう新しい住宅地などができる時は、市と学校、不動産など、もっと考慮した環境を作るべきだと思います。
- ・新興の住宅の乱立による教育機関の不足を先住の住民の負担で解消させないよう願います。
- ・市内で、生徒・児童数の偏りがあるので、住宅地を作る時にもう少し検討してほしい。
- ・設問5を回答するには、通学方法や、そのシステムの見直し、それを実施可能にする為には本当の意味での働き方改革を進めてもらい、大人側が子供達を見守れる環境を先に作らなければ、結局少子化は止まらないと思います。子供を振りまわさずに済むよう、素敵な働き方改革が進みますよう望みます。
- ・東松山の北部（大岡、松山）地区を統合して、格差をなくすことができると思います。

6 その他（26件）

- ・低学年の通学が、（下校時）徒歩で帰宅するのに不安です。家に着くまで、必ずみんなと一緒にではないので…仕事がない時は様子を見に行けませんが、行けない事もあるので、特に1年生のうちはどうにかできたらと思いました。
- ・荷物が重すぎないようにしてほしい。
- ・小学生に関しては、やはり歩ける距離を考えるべき。少ない学校は複式も仕方ない。特認校に関しては親の人間関係がうまくいかない場合の逃げ道になっているとの話も聞くので良い方法だとは思わない。
- ・設問5について。「ウ」は保ゴ者としては、学習面に悪影響がでるのではと不安があります。また「エ」は学校の特徴として、地域との関わりが強く、地域の活動の参加もある為PTA活動の面から見ても苦勞するのではないかと思います。学区外の方に理解・協力を得る事が難しいのでは…。
- ・各学校の歴史なども含めて全ては子供達ファーストであっていただきたいと思う。廃校にすることを目的にするのではなく、今ある学校の存続をいかにするかが決め手になるかと思います。兄弟、姉妹で同じ学校に通わせたい保護者は多いのでは??
- ・小学生までの距離が長くバイパスなど通る場合はスクールバスを出してもいいと思う。（近隣の学校と統合したりしたら）
- ・特別学級の場合、特認校制度から外れることを始めから説明が欲しかった。（メリットのみの説明のみだった）
- ・中学校等の部活で帰りが遅くなる場合や危険だと思われる場合は、スクールバスなどの送迎も対応してもらえると助かります。
- ・住民、学校、市、の連携。納得のいく環境を。
- ・子どもが、どこの中学校に進学できるのか早く知らせて欲しい。入学直前で変更は困るし、子どもがかわいそう。心の準備が必要です。南中がいっぱいなのは分かっている

ることなので、学校選択制を導入希望します。

- ・学区（通学区域）が微妙なところは（入りくんでいるところ）自由学区にしてもらいたいです。例えば、R254 より上（北側）は、東中に行った方が近いのに南中の学区です。選べるようにしてほしいです。
- ・自分（母親）が数年前、自転車に乗っていて、死角のある道で車と接触しそうになり危険な経験をした。中学校で、自転車の距離だけが通学させるのが心配。ニュースでも車と自転車の事故が多い為（交通量も昔より多いので）母親同士で話す時も、心配と話題がでる。徒歩、自転車、送り迎えも選択肢に加えていただきたい。南中があまりにもクラス数が多い様で、授業の質など教員の目が行き届いているのかどうなのかなと心配がある。特認校について興味があります。
- ・教育機関を大事にしなくてはならないと思います。
- ・教科書が重たいので、高学年～中学生になったらあまり必要のない図工や音楽などの置き勉を許可して欲しい。
- ・特認校（桜山・白山）のような、制度のよさがわからない。小学校、中学校は歩いて学校へ行き近所のお友達とあそんだりしないと、だれが住んでいるかわからない。毎日送迎とかありえません。
- ・法令と書かれても解りづらい。もう少し解りやすい文章に出来ませんか？
- ・部活後の帰宅時、出来るだけ、同じ時間に下校させると人数も多くなって安心だと思えます。
- ・ランドセルの重さが、とても心配です。成長期の子供の肩、背骨、腰の負担が大きいと思います。学校までの距離は仕方ないとして、荷物を軽くする工夫が必要なように感じます。（子供の肩こりがひどいので）
- ・小、中学校とも荷物が多く、目をうたがうぐらいの物を朝持って行きます。もう少し、考えた方がいいと思います。中学生は部活によっては、自転車も学校から近くてもだいたい車がわりに使えるようにしてほしいです。
- ・このアンケートをとる前に他にもっとやることがあるのでは？このアンケートの意味は？何かあれば「学校へ」学校に行けば「教育委員会へ」とたらい回し状態。行政がしっかりしてくれないと困る。
- ・適正規模・適正配置に関する意見ではありませんが、小学校も中学校も置き勉を許可しないと、子供たちの通学時の負担が大きすぎると思います。文科省では許可されている様なので、是非ご検討頂きたい。
- ・災害の時の通学路の安全が確保されていない。確保されていないのに「安全に気を付けて学校に来てください」…はおかしい。
- ・高坂小学区の見直しがあった時、多くの方が意見を出され、なかには人間関係が崩れてしまうこともありました。どうか今後また各地区でそのようなことが出た際には、誰もが納得のいく形で進めていただければと思います。

- ・学区の変更は一度できてしまった人間関係、近所付き合いを崩してしまい大変難しいので、分譲する前によく考えてほしい。
- ・理想と現実は違う。アンケートで理想を集めても意味がない。多数と少数を比べるのは違う。あらゆる場面に対応できる教育委員会の質が問われる。
- ・難しい問題ですが、子供達が安全に有意義な時間が過ごせるようになるのが一番だと思います。

アンケート自由記述について【教員】

1 各設問「その他」の記述内容について

設問1(2) 小学校の学級数(学校規模)を選んだ理由について 13件

※【 】は、設問1(1)で選んだ回答

設問1(1) ア 1学級 イ 2学級 ウ 3学級 エ 4学級 オ 5学級

- 【ウ】 学年担が増えるので業務の分担ができる。
- 【ウ】 子どもや保護者同士のトラブルや個別な支援を要する児童が多く、できるだけ学級を分ける必要を感じるから。
- 【ウ】 担任の作業分担がしやすい。
- 【ウ】 3学級あれば教師同士の人間関係が築きやすい。
- 【ウ】 教材研究が深まり授業の質が向上する。
- 【ウ】 教師が話しやすい。
- 【ウ】 学年の職員数が多いと連携が取りづらいことがある。
- 【ウ】 学級どうしの連携がちょうどよくできる。
- 【ウ】 2学級だと学年の様子が、片方の担任の考えに片寄る。3人が意見を言える(よい環境なら)。
- 【ウ】 教員同士で連携しあえる。
- 【イ】 教員の指導力向上が図りやすい。
- 【ウ】 教員同士話し合いやすく教材研究をしてもアイデアが出て深まる。
- 【ウ】 担任が3人体制になりバランスよく多くの目で子供を見守ることができるため。

設問2(2) 小学校の学級人数を選んだ理由について (8件)

※【 】は、設問2(1)で選んだ回答

設問2(1) ア 10人以下 イ 11~20人 ウ 21~30人 エ 31~40人

- 【ウ】 教員の心のゆとりが保てるため。
- 【ウ】 個別な支援が必要な児童にも対応しやすいから。
- 【イ】 いじめを未然に防げる。
- 【ウ】 以前に比べ、家庭との連携や保護者対応が激増しており、従前の規模では対応しきれなくなっているため。
- 【ウ】 一気に進むことではないと思うので、児童数が多くなっている学校は、少しずつでも少ない人数になっていけばよいと思う。少子化と言っても地域差が大きい。
- 【ウ】 多すぎず少なすぎず、ほどよく感じられる人数であるため。
- 【ウ】 体育、音楽など集団での活動機会が多い教科での充実を図ることがしやすい
- 【ウ】 40人だと教室が狭い。

設問3 (2) 中学校の学級数(学校規模)を選んだ理由について (7件)

※ 【 】は、設問3(1)で選んだ回答

設問3(1) ア 1学級 イ 2~3学級 ウ 4~6学級 エ 7学級以上

- 【ウ】 本採が多くなる。
- 【ウ】 多くの仲間の中から気の合う仲間を見つけられそうであるため。
- 【イ】 学級数が多いと生徒指導上の問題及び対応で、困難なケースが生まれやすい。
- 【ウ】 全ての教科担当の教員が配置できる。
- 【ウ】 教科担当の配置がし易い。
- 【ウ】 4クラス位が、学年をまとめやすい。
- 【イ】 学校全体で生徒一人一人の共通理解が図れる。

設問4 (2) 中学校の学級人数を選んだ理由について (3件)

※ 【 】は、設問4(1)で選んだ回答

設問4(1) ア 20人以下 イ 21~30人 ウ 31~40人 エ 41人以上

- 【イ】 教室を広く使える。
- 【ウ】 中3で40人はかなり狭く感じると思う。
- 【イ】 個別対応が多い。

設問5 児童・生徒数の減少が見込まれる中での対応について (10件)

- ・1学級の定数を減らす。
- ・子どもたちの環境を変えるのではなく、学習支援員を配置するなど、教職員の層を厚くする支援があることが望ましいと考えます。
- ・もともとあった1町4村の学校は残すべき。複式学級になる人数の場合は、加配をおき、2学年で担任2名がよい。
- ・基本的には、特認校制度でよいが、通学路も柔軟に考えられるとよい。
- ・教員数を増やし、手厚い指導を行う。
- ・休校+タクシー等で通学などは、どうか。
- ・統廃合しない。教頭は廃止。複数校の校長は兼務。
- ・1学級の定数を下げる。
- ・学級編成の定員を下げる。
- ・特認校制度は小学校のみにして、小中連携を進める。

2 設問7 自由記述について

1 学級数・学級人数について (6件)

- ・40人クラスは教室もぎりぎりです。1人で授業する教科はしっかりと見ることができていなかったような気がします。30人程度のクラスは多くもなく少なくもなく…でよいと思っています。
- ・高学年の40人クラスは、本当に窮屈に感じます。授業参観などでは、保護者の方が入るスペースもありません。
- ・中学校でも35人以下でクラスがつかれるといいと思います。
- ・一人一人の児童・生徒の人権を尊重する視点が最重要です。この視点に立つならば、現行の学級人数(定数)は不適正です。市としては、国や県に学級人数(定数)を30人以下に改善するように要望するとともに、市独自に予算をつけて小・中全学年の学級人数(定数)を当面35人以下にするようにすることです。
- ・1学級30人以上いると、目が届きにくく、指導が行き届かない。30人学級にしていただけると、だいぶ目が全体行き届くと思う。
- ・計画があるのであればキチンと先を見通して行ってほしい。1学級36名以上は多く、目が行き届きにくい。

2 学校規模・学校区等について (6件)

- ・学区が昔の道で分かれることが多い。新しい大きな道ができたので、近所の子と違う学校になってしまうので、見直してほしいと思います。
- ・私は、小規模校(全校児童100名以下)、大規模校(全校児童500名以上)どちらの学校にもいたことがありますが、やはり、その間くらいの中規模校が教職員・子ども・保護者にとっても、適正だだと思います。
- ・児童数が700人を超えると特別教室・体育館 校庭の割り振りや全校での取組が難しくなってくる。また一人職は一人での児童等の対応、事務処理が困難になってくる。
- ・何を以て「適正」としているのか知りたい。子供の実態に応じて枠は決められるべきではないか。
- ・学校は、ある程度の規模があった方がよい。その分、教職員も多く配置してほしい。
- ・白山中のように「一貫特認」という矛盾した制度でなく、校区変更によって入学人数の調整をするのがよいと思う。

3 通学距離等について (3件)

- ・統廃合などにより、学区が広域になる場合、市町村の負担にはなるがスクールバス等も必要だと思います。
- ・バスで登下校をしている学校もあるようだが、小中学生に必要か。まして、この市内でバスを出す必要性はあるのか。甘すぎると思う。
- ・近所の生徒と異なる家族の通学することになる特認校制度は安全確保の面から課題があると思います。

4 学校教育（指導等）について（7件）

- ・児童・生徒数に応じた教員数の確保をしてほしい。
- ・学級担任以外の「教員」を配置していただきたい。現状、学校によりその数に偏りがありすぎるように思います。せめて市内は等分に配置するくらいにしてほしいです。A校:すにいかあ含め3名 B校:すにいかあ含め6名超。さすがに負担感があります。
- ・学習環境は規模の問題ではなく、教職員の質の問題だと私は考えます。（指導力向上や教員の配置、指導体制の問題）
- ・小学校では、単級で大人数という学校が多くなってきたので、担任の負担が大きいように思います。1人で事務仕事や成績処理など副担任のような人がいればとても助かります。
- ・個別対応の多さに悩まされています。1人対大人数が成り立ちません。特にこの地域（これからはこの地域に限らず）は少ない人数での対応にしないと難しいです。
- ・養護教諭の複数配置も検討いただきたい
- ・現在の特認校制度は小中一貫教育の弱点から見ると矛盾していると思います。

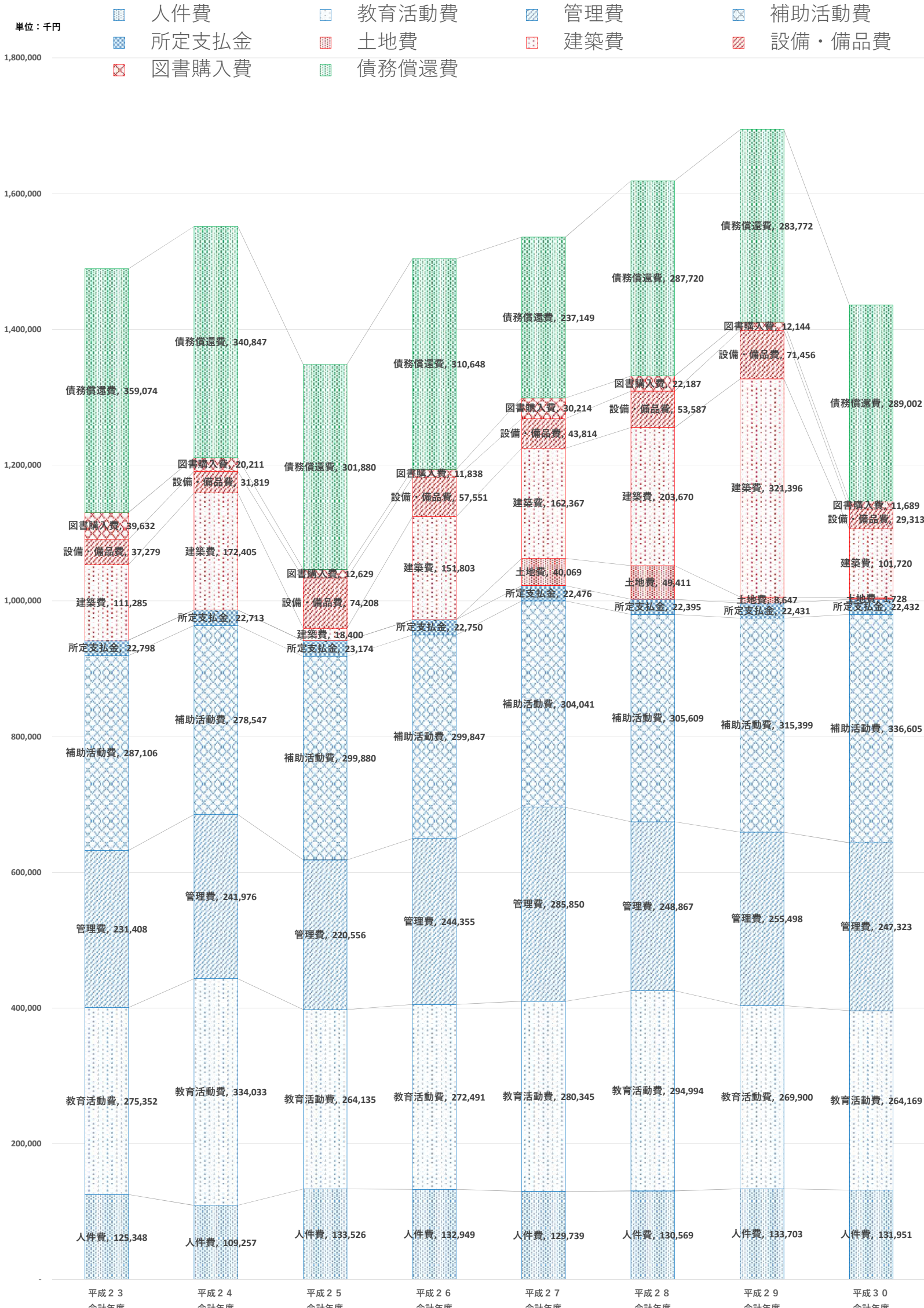
5 少子化・都市計画等まちづくりについて（3件）

- ・都市計画と連動させて柔軟に学区等の変更をするしかないかと。住民には逐一周知を図る。
- ・地域市民の声も大切に会議を進めていただきたい。
- ・子供たち・地域の実態に応じた形で進められるとよい。

6 その他（7件）

- ・このようなアンケートをとっていただくこと 結果についてお知らせいただくことが大事だと思います。
- ・特認校制度などの学校選択制には反対です。地域・保護者によっては行かせたくても行かせることができない場合が多くあると思われます。教育の機会均等に反するからです。通学について公が全て負担するならば考えてもよいかと思います。
- ・担任の学年、児童数で、個人がわってしまうのはいかがでしょうかと思う。伝統ある学校は閉校にすべきではなく、工夫をして残してほしい。
- ・競争意識を生まれやすくするというのは、いかがなものかと思う。
- ・少子化により、母校がなくなってしまうことは避けたい。
- ・地域の学校は統廃合すべきでない。小規模校に教頭を配置する必要はない。校長も複数校兼務で対処可能。統廃合する前にもっと知恵を出すべき。
- ・教室に適度なスペース（左右前後の距離）があった方が、ストレスがない。

学校教育費（市支出金）の推移（市立小中学校16校分）



債務償還費 平均：301,262千円
地方債の元金の返済、利子の支払及び手数料に要した経費

図書購入費 平均：20,068千円
学校図書館・学級文庫・教員室等に備え付ける図書等の新規購入費及びその取替えや補充に要した経費

設備・備品費 平均：49,878千円
土地費・建築費に含まれない設備・備品の購入・補充に要した経費

建築費 平均：155,381千円
施設の新築・増築、又は大規模な改修・改良のために支出した経費

土地費 平均：12,482千円
学校の敷地の整地等のために要した経費

所定支払金 平均：22,646千円
定期的に支払義務が生じ、それに基づいて支出した経費
共済掛金・保険料・賃借料・負担金など

補助活動費 平均：303,379千円
正規の学校教育の中には含まれないが、それと密接な関係をもって学校が行う事業に支出した経費
補助事業費・その他の補助活動費

管理費 平均：246,979千円
学校施設等の管理、維持・修繕のために支出した経費
修繕費・その他の管理費

教育活動費 平均：281,927千円
児童・生徒に対する教育活動及びその補助のために支出した経費
教授用消耗品費・特別活動費・旅費・その他の教育活動費

人件費 平均：128,380千円
職員の給与並びに共済組合等負担金、退職・死傷手当等の経費
その他の職員（教育補助員・施設維持職員・補助活動職員）の給与など

資本的支出

消費的支出

平均：237,809千円

平均：983,312千円

平成23会計年度	平成24会計年度	平成25会計年度	平成26会計年度	平成27会計年度	平成28会計年度	平成29会計年度	平成30会計年度	平成23～30会計年度 平均
合計額 1,489,282千円 1校当たり 93,080千円	合計額 1,551,808千円 1校当たり 96,988千円	合計額 1,348,388千円 1校当たり 84,274千円	合計額 1,504,232千円 1校当たり 94,015千円	合計額 1,536,064千円 1校当たり 96,004千円	合計額 1,619,009千円 1校当たり 101,188千円	合計額 1,694,346千円 1校当たり 105,897千円	合計額 1,435,932千円 1校当たり 89,746千円	合計額 1,522,383千円 1校当たり 95,149千円
【参考】 小学校のみ 1,019,046千円 小学校1校当たり 92,641千円 中学校のみ 470,236千円 中学校1校当たり 94,047千円	【参考】 小学校のみ 982,708千円 小学校1校当たり 89,337千円 中学校のみ 569,100千円 中学校1校当たり 113,820千円	【参考】 小学校のみ 879,934千円 小学校1校当たり 79,994千円 中学校のみ 468,454千円 中学校1校当たり 93,691千円	【参考】 小学校のみ 1,024,365千円 小学校1校当たり 93,124千円 中学校のみ 479,867千円 中学校1校当たり 95,973千円	【参考】 小学校のみ 955,192千円 小学校1校当たり 86,836千円 中学校のみ 580,872千円 中学校1校当たり 116,174千円	【参考】 小学校のみ 959,372千円 小学校1校当たり 87,216千円 中学校のみ 659,637千円 中学校1校当たり 131,927千円	【参考】 小学校のみ 1,198,138千円 小学校1校当たり 108,922千円 中学校のみ 496,208千円 中学校1校当たり 99,242千円	【参考】 小学校のみ 960,434千円 小学校1校当たり 87,312千円 中学校のみ 475,498千円 中学校1校当たり 95,100千円	【参考】 小学校のみ 997,399千円 小学校1校当たり 90,673千円 中学校のみ 524,984千円 中学校1校当たり 104,997千円

東松山市立小・中学校適正規模基本方針骨子案

令和2年3月25日現在

I はじめに

II 東松山市立小・中学校の現状

- 1 児童生徒の推移と将来推計
- 2 小・中学校の規模と現状と将来推計
- 3 学校の小規模化・大規模化に伴う課題
 - (1) 小規模校のメリット・デメリット
 - (2) 大規模校のメリット・デメリット

III 適正規模の基本的な考え方と基準

- 1 適正規模の基本的な考え方
- 2 適正規模・適正配置の基準

IV 本市における適正規模の基準（基本方針）

- 1 小学校の基準
- 2 中学校の基準

V 適正規模の推進方策

- 1 通学区域の見直し
- 2 学校の統廃合
- 3 複式学級
- 4 特認校制度
- 5 その他

VI 本市における適正規模の具体的な進め方

- 1 学校の小規模化への対応
- 2 学校の大規模化への対応

VII むすびに

《資料》 子ども達にとって望まし学習環境を考えるアンケート